人と夢を紡ぐコミュニケーションマガジン

FD

Fine Dream

NO. 33
福岡大学学園通信
April, 2011

新（しん）
SPRING

人をつくり、時代を拓く。
福岡大學

FD

Fine Dream　福岡大学学園通信

FDは、「この福岡大学のキャンパスで在学生の皆さん一人一人が、美しく素敵な夢(Fine Dream)を育んでくれるように」との願いを込めるとともに、あわせてFUKUOKA DAIGAKUの頭文字を構成し、愛称として名付けられています。

「新」友との出会い、師との語らいを成長の力へとつなげていく。

Contents

3 特集／新入生歓迎

9 Fの鼓動
田尻 将揮さん(経済学部産業経済学科 2011年3月卒業)

10 知っていますか?
「記憶と関連付け」

11 FUKUDIARY
平成22年度 福岡大学卒業式

13 先生の研究
栗田 高光 経済学部准教授
時系列分析 ー経済モデルを構築して、データの特性を明らかにするー

15 充実Campus Life
人文学部教育・臨床心理学科 4年次生 浦上 紘暁さん

17 情熱の証
○体育部会常任幹事会 ○学術文化部会常任幹事会

19 時代を駆ける先輩たち
株式会社ファーストリテイリング 黒瀬 友和さん

21 就活日記Myチャレンジ
○株式会社三井ハイテック 篠田 安弘さん
○株式会社筑邦銀行 堤 康博さん

23 教育クローズアップ
共通教育科目外国語科目 フレッシュマン・イングリッシュⅠ～Ⅳ

25 カラダのカガク
睡眠を考える[前編]

26 絆エッセイ / ヒューマン ディベロップメント センター

27 ななくま通信

32 ARCHIVEー甦る記憶ー
【入学式と創立記念日】

33 地域の福大サポーター

中綴じ別冊
表面 福岡大学Campus Map
裏面 福岡大学を知る

FD April 2011 NO.33

第33号(通巻203号)平成23年4月25日発行
編集・発行:福岡大学広報委員会(福岡大学企画部広報課)
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19-1
TEL:092-871-6631(代) E-mail:fupr@adm.fukuoka-u.ac.jp

『FD』に対するご意見、ご感想をお寄せください。

より良い広報誌づくりのために、本誌に対する読者の皆さまからのご意見、ご感想などをお待ちしています。また、情報提供などありましたらお知らせください。

建学の精神

思想堅実・穩健中正
質実剛健・積極進取

【教育研究の理念】

「人材教育」と「人間教育」の共存
「学部教育」と「総合教育」の共存
「地域性」と「国際性」の共存

福岡大学の三つのポリシー

福岡大学は、「建学の精神」に基づいた全人教育を目標として、「教育研究の理念」に掲げる三つの共存をはかることによって、真理と自由を追求し、自発的で創造性豊かな人間を育成し、社会の発展に寄与することを使命としています。地域に密着し、地域と融合した総合大学として、コミュニケーションを大切にし、社会から信頼される人材を育成します。

アドミッションポリシー

本学の「建学の精神」を理解した、次のような人たちを広く国内外から受け入れます。

1. 考え方がしっかりしており独断や偏見にとらわれない生き方を求める人
2. 温和で包容力がありバランス感覚に優れた能力を身につけたい人
3. 誠実で責任感が強く何事にも屈しない人生をめざす人
4. 新しいこと、困難なことに自ら進んで取り組んで行こうとする人

カリキュラムポリシー

本学の「教育研究の理念」に基づき、すべての学生に提供する「共通教育科目」と、各学部学科に設置する「専門教育科目」の二つを大きな柱とし、それぞれの学部学科の教育目標にあわせたカリキュラムを編成します。また、正課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で本学学生の人間的成長を支援し、全人教育を実現します。

1. 全学に提供する共通教育科目をとおして、専門性にとらわれない幅広い視野と豊かな人間性を持つ人材を育成
2. 各学部学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能を高め、社会の進歩や変革に応え得る深い学識を有する人材を育成
3. 様々な教育プログラムをとおして、国際性と地域性を兼ね備えた21世紀に通用する人材を育成

ディプロマポリシー

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決する力
2. 職業生活、社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力
3. 自律しながらも他者と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる力

新(しん)

桜が薄桃色の羽衣を身にまとうころ、
あなたは希望を胸に抱き
新たな一歩を踏み出す。
みずみずしく芽生えた若葉は光を吸収し、
満開の花を咲かせる力に換えていく。
その若葉の如く、
あなたは友との出会い、師との語らいを
成長の力へとつなげていくだろう。

特集 新入生歓迎

福岡大学という新たなフィールドで、大きな夢の実現を。

学長式辞

平成23年度 入学式

この度の東北地方太平洋沖地震の被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。私たちには、被害地域の痛みを分かち合い、被災者の支援を急ぎ、試練を乗り越え、平穏な日本を取り戻していくことが求められております。一日も早い復旧、復興を心から祈っております。

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。皆さんは、志願者4万4,900人の中から入学の栄冠を勝ち取られました。心から祝福いたします。

ご臨席のご家族の皆さまにも心よりお喜び申し上げます。さらに、本日は多数のご来賓をお招きしております。その中に、本学を42年前に卒業された先輩の方々をお招きしております。

さて、福岡大学は九州における私学の雄として存在感のある大規模な大学であり、また9つの文系・理系の学部を有する総合大学であります。さらに、福岡市南西部の七隈地区を拠点とする福岡の拠点的・シンボル的な大学として位置付けられています。6年前の平成17年2月には地下鉄七隈線が開通し、福大前駅が設置され、本学へのアクセスが飛躍的に向上しました。今年の1月4日には、新しく福岡大学病院の新診療棟が開院しました。目下、新中央図書館棟（仮称）および2号館（創立75周年記念商学部棟）が建築中であります。

さて、新入生の皆さんはこれから大学生活を送ることになりますが、そのスタートにあたって幾つか心掛ける点を述べますので、参考にしてもらいたいと思います。

一、強い意志を持つこと

新入生の皆さんには、勉学や課外活動、その他の活動のために受け入れ態勢の整ったここ七隈キャンパスの地で大いに羽ばたき、大きく成長してもらいたいと願っております。一人一人が強い向学心、強い意欲、強い意志を持って取り組み、それぞれ自分づくりの道を歩んでいってください。そのための努力は惜しまないようにしてもらいたいと思います。

強い意志があれば、道は拓かれるのです。

二、3つの「知」を学ぶこと

福岡大学は9つの学部がここ七隈の地を拠点として教育活動を行っています。七隈キャンパスで皆さんが大いに勉学と課外活動その他で活動される場合大切な点は、皆さんが「知」を学び、それによって大きな人間になってほしいということです。

ここで「知」を、専門知、教養知、生活知の3つに分けてみます。専門知は、専門的な知識を学ぶことであり、これによって、論理的な思考力、総合的なものの見方、冷静な判断力などが養われます。次に、教養知は、人文科学、社会科学、自然科学、語学、体育などさまざまな分野に関する教養の知識を身に付けることであり、これによって人間の幅が広がります。生活知は、仕事や社会活動、家庭生活を営んでいく上で必要な礼儀・マナー、倫理・道徳、慣習やしきたりなどの知識を身に付けることで、これによって人間としての心構えが養われます。専門知、教養知、生活知の3つの「知」を学ぶことは、人間としての強い基盤をつくることになります。どうか学生時代にここ七隈キャンパスを土台にして自分を磨き、自分をつくる努力を重ねていってください。

三、勉学が核（中心）であること

大学に入った以上、専門教育科目や一般教養科目を中心とした勉学に勤しむことが求められます。勉学は皆さんの大学生活の核であり、その核の周りに課外活動やコンパ（懇親会）、合宿、研修旅行、イベント、ボランティアなど多彩な活動が用意されているのです。皆さんは核となる勉学ならびにその他の活動を計画的にうまく調整し、苦楽を共にしながら展開することが必要となります。実際に多くの学生はそのようにして学生生活を有意義に送っているのです。

勉学は決して楽なものではありません。しかし、苦しみながらも努力することによってのみ、勉学から充実感と喜びが得られるのです。要するに、勉学には多少の我慢、抑制、集中、エネルギーなどが伴うわけですが、そうであるからこそ、また喜びも大きくなるのだと言えます。

四、時間を大切にすること

大学生活は長い人生の一コマにしか過ぎません。4年間ないし6年間という時間はあっという間に過ぎてしまいます。まさに「光陰矢の如し」と言えます。

そこで、この限られた大学生活の時間は皆さんに与えられた貴重な時間となりますので、無為に過ごすことは許されないことになります。皆さんの日常生活を規律正しく、目的意識を持って計画的に過ごすことが何よりも大切になるわけです。時間は後戻りがきかない不可逆的な性格のものですから、どうか一日一日を大切に踏みしめながら歩んでいってもらいたいと強く願っております。

今日という一日は、明日という日と二日分の値打ちを持っています。

最後になりますが、皆さんがこの場に居られるのは、皆さんの努力によるところが大きいですが、それ以上にご家族の温かい支援と励ましがあったからだと思います。ご家族への感謝の気持ちを忘れず、それに応えるべくこれから努力を積み上げていってください。

本日はご入学おめでとうございます。

平成23年4月1日

福岡大学長　衛藤　卓也

理事長挨拶

平成23年度 入学式

この度の東北・関東大震災により、亡くなられた犠牲者の皆さまのご冥福をお祈りいたします。また、今なお厳しい避難生活に耐えておられる被災者の皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

大変な国難に直面した厳しい状況の中ですが、期待も込めて皆さんの入学を歓迎し、お祝い申し上げます。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。ご家族の皆さま方にも心からお祝いを申し上げます。新入生の皆さんは、厳しい選抜を経た優秀な学生であり、そして無限の可能性を秘めた若者であります。これからの皆さんの、学業や課外活動に対する真剣な取り組みと成長を大いに期待しています。

皆さんが選んだ各学部の専門教育をしっかり学び、身に付けてください。この先の皆さん自身の生活を支え、国家・社会のために尽くす手だてとなるものです。同時に、教養教育の重要性も忘れないでください。教養は物事を考える思考力の基礎であり、皆さんが人間として成長していくための栄養となるものです。また近年、国際化の進展とともに、海外で活躍できるグローバル人材が広く求められ、外国語の習得、特に英会話能力が必須要件となってまいりました。これもぜひ、身に付けてください。独学で一級建築士の資格を取り、東京大学教授にまでなった建築家の安藤忠雄先生は、若い時、芥川賞作家の開高健氏に言われたそうです。「若者は全力で走れ」と。専門も教養も英会話もと大変なようですが、若い皆さんだから要求されることであり、また若いうちでなければできないことです。福岡大学の建学の精神にも謳っている「積極進取」の気概を持って取り組んでください。

今日のわが国は、少子高齢化の進展、長引くデフレによる経済不況、環境・エネルギーの問題など多岐にわたる課題を抱えています。それに加えて、東北・関東大震災による甚大な被害からの復興が緊急の課題となりました。わが国の総力を挙げて取り組まなければなりません。

本学は優れた教授陣と、充実した施設、設備をそろえ、教育・研究・医療の各分野において幅広い活動を展開しております。この優れた本学の機能を十分に活用して、確かな力を身に付け、国家・社会の要請に存分に応えてください。また、本学は77年にも及ぶ歴史の中で、23万人を超える優秀な卒業生を社会に送り出して参りました。本学の輝かしい歴史と伝統は、卒業生一人一人のたゆまぬ努力によって築き上げられたものです。

皆さんもこれをしっかり受け継ぎ、さらに高めていただきたいと思います。

最後に、本学での学園生活が皆さんの充実した社会生活の礎となることを願い、お祝いの挨拶といたします。

平成23年4月1日

学校法人福岡大学
理事長　鎌田　迪貞

【今年も入学式に卒業生を招待】

今年も入学式には、来賓として本学の卒業生をお招きしました。今年は43年前に卒業（昭和43年卒）された先輩17人が列席、母校の盛大な式典を感慨深く見守っていらっしゃいました。

新入生を代表し入学の辞を述べる市岡正敏（医学部医学科）さん

「新(しん)」大きな夢の実現へ。福岡大学というフィールドで、新たな一歩を。

福岡大学の学生となった新入生の皆さんへ、4人の副学長をはじめ、事務局長、各学部長、教務部長、学生部長から歓迎の言葉を送ります。
これからの大学生活を充実したものにするため、そして夢の実現のための大きなヒントがここに詰まっています。

副学長(教学担当)
馬本 誠也 教授

三つの「C」を意識して大学生活を送ってほしい

大学を取り巻く社会状況が激変している昨今、大学を中心とする教育改革にも拍車が掛かり、ベーシックな部分で大学の教育力が問い直されています。そんな時代に本学の一員となった皆さんには、福岡大学の「人材養成の目的」や三つのポリシーをしっかりと把握してもらいたいと思います。

私からは、大学生活において、三つの「C」を大切にすることを提言します。一つはコミュニケーション力、つまり対話能力です。一方的に自己主張するのではなく、相手の話を謙虚に聞く姿勢を持つことによって、二つ目の「C」であるコミューニオン＝相互理解が生まれてきます。そして、そこから最後の「C」であるコミュニティー(共同体)が成立していくのです。人と人の絆や日本の伝統的な美意識が失われつつある時代だからこそ、若者の発想力やアイデアを存分に発揮し、常にポジティブな姿勢で大学生活を過ごしてください。皆さんが自分の人生をデザインする4年間、6年間に私たちもできるだけの支援を行います。

副学長(財政担当)
藤原 道弘 教授

想像と創造をつかさどる前頭葉を刺激しよう

本学の広大なキャンパスは、無二の友人と出会い、未知の考え方に遭遇し、自らを奮い立たせてくれる機会を与えてくれます。

脳を専門にする私から新入生の皆さんに伝えたいことは、五感を十分に働かせて、積極的に知的刺激を求めてもらいたいということです。これは、脳を鍛えることに他ならず、特に想像と創造をつかさどる前頭葉という高度な脳機能を持つ人間だけに与えられた、素晴らしい世界をさらに深化させるということです。

脳の活性化により、耳から音を聞くことで「場面の想像」ができるようになり、目で文字を読むことで、行間から作者のイメージが膨らむようになります。「見る、聞く、読む」を重ねることで想像力が豊かになり、感性が磨かれていくのです。そしてその感性から、自分の考えを表現する力、つまり創造力が身に付いていきます。これからの大学生活でさまざまなことを貪欲に吸収し、そして夢を実現させてください。

副学長(研究・情報・広報担当)
大和 竹史 教授

専門の学びに付加価値を付けて

専門的な研究に取り組み、社会に貢献することは、大学にとって大切な使命です。福岡大学は、これまでも研究推進部が中心となって、さまざまな研究を支援・推進・開発してきました。今年度は、研究推進部を再編し、基礎研究機関と産学官連携研究機関を創設しました。また、若手・女性研究者の育成・支援を強化していき、さらなる発展を目指しています。

これからの大学生活で意識してほしいのは、専門の学びに付加価値を付けること。その付加価値とは、ボランティアマインドとベンチャーマインドです。本学の地域ネット推進センターと協力して地域校区の安心・安全のためにさまざまな活動を行っていますので、ぜひ興味を持って参加してほしいと思います。また本学には、多くの社長を輩出している起業家精神の伝統があります。正課授業はもちろん、エクステンションセンターの活用などが、良い動機付けとなるはずです。ぜひ利用してみてください。

副学長(医学・医療・健康担当)
瓦林 達比古 教授

知力・体力・気力に感性を加えよりキャパシティーの大きな人間に

福岡大学病院は、新診療棟の完成によって、より地域に開かれた病院となりました。メディカルフィットネスセンターやメディカルホールを有する新診療棟を含め、学生の皆さんも「自分たちの施設」として大いに利用してください。特に、医学部、薬学部、スポーツ科学部の学生は、医療や健康維持の学びの場としても活用してもらいたいと思います。

「生は偶然、死は必然」という言葉がありますが、人間は誰でも平等に毎年歳を取っていきます。だからこそ、一日一日を大切にしてほしい。一生懸命生きることによって、人の能力は高められます。人間の能力は、知力・体力・気力から成るといわれますが、そこに感性を加えてこそ、本学の教育目標である「全人教育」が意味する、キャパシティーの大きな人間になれるのです。コミュニケーションを大切にしながら、そこから生まれる真のエデュケーションを体感してください。

事務局長
柳 幹男

事務職員を大いに利用しよう

現在、私たち事務職員は、学生の皆さんが卒業する時に「本当に福岡大学に来て良かった」と思ってもらうために、何ができるのかを一生懸命考えています。そのために、「スタッフ・ディベロップメント(SD)プログラム」などに取り組み、日々、スキルアップを図っています。これからの4年間もしくは6年間、楽しく有意義な学生生活を送るために、事務職員を大いに利用してください。

新入生の皆さんは、初めての大学生活で不安や戸惑いもあるはずです。学生生活を送る中で、一人では解決できない問題も出てくると思います。そのようなときは、どうか遠慮なく各学部の事務室に立ち寄ってください。もし、どこの事務室に相談に行ったらいいのか分からない場合は、一番近くの事務室で大丈夫です。事務職員が学内・学外に関係なくどんな問題でも一緒に心配し、解決に向かって動いていきます。私たちとともに福岡大学の新しい歴史をつくっていきましょう。

人文学部長
則松 彰文 教授

立ち居振る舞いも含めた真の教養を身に付けよう

人文学部は、本学最大の8学科で構成されています。それぞれの学科に核となる専門要素はありますが、「徹底した少人数教育を通じて人間を総合的に探求する」という共通のテーマを持っています。受け身にならず、自分で考え、自分の意見を発表し、普段の立ち居振る舞いまで含めた〝真の教養〟を身に付けてください。

本学部では、1年次から一般教養に加えて専門教育も行います。学科によっては、最初からかなり深い専門内容を学ぶことになります。それだけに、高校と大学の〝学びの違い〟を、どの段階で自覚できるかが大きなポイントになります。積極的に学び、能動的に動くことが、その自覚を早めることになるだけでなく、その後の学びの幅、深さを大きく変えていきます。ただ、あまり肩に力を入れてばかりではいけません。正課授業が大学生活の中心にはなりますが、サークル活動、アルバイト、旅行など、この4年間にしか経験できないことにも意欲的にチャレンジしてください。

法学部長
畠田 公明 教授

法の規定の本質を理解する力を身に付ける

法学部は、二つの学科で構成されており、それぞれに将来を見据えたコースを設定して社会に貢献できる人材を育成しています。すべてのコースに共通しているのは、問題の本質を見いだす力、根源的なものを調べて問題の原因を探る力の習得を目指しているところです。法律を学ぶ上で大切なのは、法の規定を暗記するのではなく、その背景を知り、本質を理解すること。また、法律は人を対象としているものですから、人権に対する意識をしっかりと持つこと、さらには、コミュニケーション力を身に付けることです。

本学部では、教授陣と身近に接し、法の基本、大学での学びの基本を早いうちに身に付けてもらうために、1年次から法学部入門ゼミ、基礎ゼミを履修してもらいます。少人数のゼミでは、受け身の姿勢では前に進むことができません。これからの4年間そして今後の人生を有意義なものにできるよう、何にでも自ら積極的にかかわっていくことを心掛けてください。

経済学部長
齋藤 参郎 教授

秩序立てて考える力を身に付け卒業までに自己を成長させる

大学生活は、これまでの高校生活とは大きく違い、自分で考えて行動していくことが求められます。地域、企業などの実社会における諸問題を自ら発見し、解決できる力を身に付けていく自己成長の場なのです。総合大学という強みを生かし、ゼミやサークル活動などで学部を越えた友人や教職員と触れ合い、人の話に耳を傾けられる人、人の考えを理解した上で自分の意見を語れる人になってほしいと願っています。

経済学部で学ぶ際に重要視されるのは、物事を秩序立てて考える力、論理立てて考える力です。「学問の方法」を学びながら、人の評価に頼らず、自分自身の評価を形成し、これを検証していく能力が身に付けられるように、日々の努力を怠らずにこれからの4年間を過ごしてください。また、経済学部には個性豊かな教授陣がそろっています。1年次から、たくさんの先生方と語り合い、できるだけ早い時期に自分の関心がどこにあるのかを発見してください。

商学部長
川上 義明 教授

海外と国内に目を向けられる二面性を持った人材に

福岡高等商業学校から始まった福岡大学の歴史は、商学部の歴史そのもの。多くの先輩方を輩出した、福岡大学の軸となるのが本学部です。この伝統ある学部で、新たな価値を創造できるイノベーター、変化を待つのではなく積極的に革新を起こせるビジネスリーダー、マネジメントリーダーに育ってほしいと思います。

大切なのは、海外と国内の両方に目を向けられる両面を持つこと。そのために、英語やアジア圏の言語、そして正しい日本語を身に付け、幅広い教養と商学に関連した専門知識をしっかり学んでください。

商学は、身近にあるモノに対して関心を持つことから始まります。そのモノの背景にある、生産・流通・金融・保険・情報などを考える習慣を身に付けましょう。社会に出てから「さすが福岡大学商学部の卒業生」と評価されるような人になってもらえることを切に願っています。

理学部長
横張 文男 教授

自然科学への知的好奇心を学びの力、知の創造に

理学部は、設立以来40年間、ずっと同じスタンスを保ってきました。それは「自然科学への興味を学びの力としながら、知の創造に結び付けること」です。自然科学を解明していく過程では、予測していない結果にぶつかることもあります。そのようなときに感じる「なぜだろう?」という知的好奇心が、学びへの大きな原動力となるのです。「面白い」と思う心を大切にして、4年間真剣に打ち込めるテーマを見つけてください。また、大学で理学を学ぶためには、基礎学習が大切です。そのために、理学部では基礎をしっかりと学べるカリキュラムを組み、少人数制できめ細かな教育を実施しています。専門分野の研究をより面白いものにするために、まずは一般教養を中心に、自分の考えを整理する力、柔軟な表現力や発想力を養ってください。

理学を自分一人で学んでいくには限度があります。疑問に思うことがあれば、いつでも教員を訪ねてください。共に理学の真理を追究していきましょう。

工学部長
西嶋 喜代人 教授

常に社会に必要とされる技術者を育てるために

工学部は基礎的な6学科で編成し、「人を育て、技術を社会に生かす」を原点としています。それぞれの学科が、技術の先端を担うことはもとより、地元に密着した堅実な専門技術者の育成を行っています。

新入生の皆さんは、できるだけ早く高校とは異なる大学に適した学習方法と生活習慣を身に付けてください。大学では、ただ単に授業に出て「学ぶ」というのではなく、目的を明確にし、「学び取る」という気持ちを持って授業に臨むことが重要です。このことを常に心掛けてください。

また、工学部の4年間では、ものづくりというハード面だけでなく、教員とのコミュニケーションや友人との議論といったソフト面も大切にしながら、人間力、社会力を養いましょう。これからの大学生活は、一人一人が社会的、職業的自立に向けた貴重な体験の場となります。自ら考え行動する良き社会人、そして「人に優しい技術者」を目指してください。

医学部長
黒木 政秀 教授

リーダーシップのある医療人を目指してほしい

福岡大学病院の新診療棟が完成したことで、臨床実習をはじめとする医学部の学習環境はさらに充実してきました。医学科、看護学科ともに、この恵まれた環境をフルに活用して、「すべての患者さんを家族と同様に慈しむ」ことができる優れた医療人に育ってほしいと願っています。特に、これからの医師は、強いリーダーシップを持って、看護師や技師とコミュニケーションを取っていくことが求められます。そのためにも"豊かな人間性"を身に付けることを意識しながら、実りある学生生活を送ってください。

人々の健康を守り、治療を施すためには、医師や看護師が一番健康であるべきです。卒業後は体力をつける機会がなかなか得られませんので、サークル活動をはじめ、学生時代にしかできないことに積極的にチャレンジしてください。また、アジア圏などの他国の言語を学ぶなど、これからの医療に必要な"グローバルな視野"を持つことも大切です。

薬学部長
山口 政俊 教授

地域にも高度な医療にも貢献できる薬剤師に

本学には、同じキャンパス内に薬学部、医学部、スポーツ科学部、そして福岡大学病院があります。薬学部を持つ大学は他にも多くありますが、地域にもそして高度な医療にも貢献できる、よりレベルの高い薬剤師を育てる環境は、全国屈指といえるでしょう。

薬学部で学ぶ6年間には、苦しいことがたくさんあります。しかし、患者さんの痛みを共有し、和らげられる医療人となるためには、経験しておくべき必要な苦しみです。患者さんに対しても医師に対しても適切なことが言え、真に医療を先導する薬剤師となるために、高い目的意識を持って勉学に励んでください。とはいえ、人間力を高めるにはメリハリも必要。サークル活動など、時間を有効に活用して有意義な学生生活を送りましょう。

本学部には、人的資産ともいえる、医療の第一線で活躍する先輩方がたくさんいます。薬学部の同窓会を多方面で活用しながら、人的ネットワークを広げていきましょう。

スポーツ科学部長
中原 一 教授

模倣(もほう)する(真似る)ことが技術・スキル向上の原点

スポーツ科学部は、他学部に比べて、より実践教育が中心となる学部です。単なる実践にとどまらず「実践を科学すること」を通して、優れたアスリートやスポーツ・健康運動の指導者を育成することを目的としています。

1年次ではフレッシュマンセミナーを設け、多彩な教授陣がそれぞれの特徴を生かした30コマの講義を行います。このセミナーで、4年間の土台となる基礎力を高め、自分が進むべき道をできるだけ早く決定し、その道に対して継続して実践・研究を進めていってほしいと思っています。

また本学部には、全国屈指の経歴や指導力、人間性を備えた指導者が多く存在します。技術・スキルの習得は、模倣する(真似る)ことから始まります。一人の力で自らの能力を向上させるには限界があるので、まずは指導者の尊敬・共感できる部分を真似ることから始めてください。"真似る"ことが"気付き"のきっかけになり、最終的には必ず自分の力になるはずです。

教務部長
今泉 博国 教授

予習・復習の積み重ねが自己責任力・判断力を養う

新入生の皆さんには、真っ先に目を通してもらいたいものがあります。一つは、学部ごとの授業内容や計画を示したシラバスです。これはその授業で、どのような、そしてどれくらいの力がつくのかが把握できる"学びの道しるべ"となっています。二つ目は『福大生のための学習ナビ』。大学で学ぶ上での基本的な心構えを分かりやすく説明した"必読の書"です。

そして、共通教育科目の一つである「福岡大学の歴史・未来そして魅力を探ろう」は、本学のことを広く知ることができ、「建学の精神」などの理解がきっと深まる特徴的な講義です。受講を勧めます。

これからの大学の学びで大切なことは、課題を自分からすすんで発見する力を身に付けること。そのためには、一つの授業ごとに予習・復習を行うことを忘れないでください。その積み重ねが、自己責任能力、判断力の向上へと必ずつながっていきます。

学生部長
小野寺 一浩 教授

悩むことがあれば学生課に一日でも早い相談を

学生課は、学生の皆さんの学修面に限らず、生活面全般を支援する「総合的相談窓口」の役割を果たしています。大学は高校と違い"自由"がたくさんあります。しかし、自由であるが故に、人間関係や経済問題などさまざまな悩みやトラブルを伴うことがあります。学内・学外を問わず、何かトラブルに見舞われたとき、また少しでも悩みがあるときは、決して一人で抱え込まず、一日でも早く相談に来てください。経験豊かなスタッフが、時には親代わりに、時には人生の先輩として、皆さんに寄り添いながら一緒に問題を考えていきます。

また、課外活動・ボランティア活動等の支援や相談も受け付けています。学生の皆さんが人間力を身に付け、人として成長していくためのサポート役として、積極的に活用してください。明るく元気なキャンパスライフを、私たちと共に過ごしていきましょう。

在学生からの歓迎メッセージ

学友会 総務委員長
浦上 紘暁さん
(人文学部教育・臨床心理学科 4年次生)

「自由」には「責任」が伴うことを常に意識して実りある大学生活を

大学生活をどれだけ充実したものにできるか、それは皆さんの意志と行動によって決まります。

自ら履修科目を選び、毎日の生活スタイルを決める大学において、どのような大学生活を送るかは全て本人の自由です。しかし、「自由」には「責任」が伴ってくることを常に意識して生活するようにしてください。

正課授業では、これまでのように画一的な答えがあるわけではなく、自らの好奇心の赴くままにたくさんのことを学ぶことができます。興味のわく課題を見つけ、それに積極的に取り組むことで、知識や教養を身に付けることにつながるはずです。

福岡大学では、課外活動を「学友会活動」と呼び、今年度より「1パーソン1サークル」を推奨しています。ぜひ部・サークルへ積極的に参加してください。

新入生必携のハンドブック

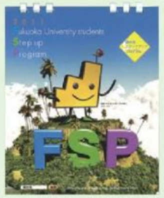
『福大生のための学習ナビ』

新入生のために「福大生として何をどう学べばいいか」を分かりやすく解説。学びの基本姿勢から試験の受け方、図書館の活用方法など、大学での「学び」に必要な事柄がコンパクトにまとめられています。

人間性を磨き、社会人としての基礎を養う

福大生ステップアッププログラム(FSP)

福岡大学は、建学の精神と教育研究の理念に基づいた全人教育、すなわち、専門性を有する教養人(人らしき人)の育成を重視した教育を進めています。その一環として、「学び」「豊かな人間性」「社会」への3つのステップから本学学生の人間的成長をサポートする「福大生ステップアッププログラム(FSP:Fukuoka University students Step up Program)」を実施しています。新入生の皆さんも積極的に参加してください。



FSP 卓上カレンダー型総合パンフレット

Fの鼓動

動いている。聞こえてくる。
学生たちの熱い鼓動が。

電子書籍を使った ビジネスプランを提案。 多くの方の助けがあったからこそ 獲得できた優秀賞。

田尻 将揮さん
（福岡大学 経済学部産業経済学科 2011年3月卒業）

本や電子端末機器に興味があり ビジネスを考えることが好きなので 自然と生まれたプラン

今や大学在籍時から起業する若者も珍しくない時代。社団法人九州ニュービジネス協議会では、そのようなムーブメントをさらに活性化しようと、毎年「大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」を開催しています。田尻将揮さんは、4人の仲間とともに、昨年行われた第10回大会で見事に優秀賞を受賞しました。田尻さんたちが提案したプラン名は「作家が育つ電子書籍」です。

「電子書籍はウェブサイト上のショップから有料でダウンロードしますが、それだと、どうしても有名作家の作品を買ってしまいがちで、無名作家の作品は、なかなか気付いてもらえません。そこで、すべての作品を無料でダウンロードできるようにして、それを読んで面白いと評価してくれる人が増えれば、それに応じて作品に価格を付けていくというシステムを考案。単にウェブサイト上で書籍を販売する書店という立場ではなく、もっと出版社的な形まで広げました」と語る田尻さん。

「コンテストに参加したきっかけは、産業戦略論というゼミ形式の講義。その講義を受講している学生が、それぞれのプランを提出します。そして、プランに賛同してくれる仲間を集い、一緒にブラッシュアップをしていくわけです。私は、本を読んだり、自分で物語を書いたりすることも好きですが、それ以上に電子端末機器に興味があります。そして、やはりビジネスを考えることも好きだったので、自然と電子書籍のビジネスプランを考えるようになりました」。

コンテスト終了後、他大学のコンテスト参加者と一緒に記念撮影。

第10回大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト優秀賞の賞状。

コンテスト当日、プレゼンテーションする田尻さん。パワーポイントを使って27枚にも及ぶ発表用のスライドを作成しました。

自分から動いたからこそ 成長することができた 大学生活

今回のコンテストでグランプリを受賞したのは九州大学大学院のグループ。田尻さんは「やっぱり悔しかったです」と言いながらも、「九州大学のプレゼンは具体的で分かりやすかったです。私たちも、もっと具体的に実際の形を作ってみることができれば良かったと思います」と反省も忘れません。「その反省も含めて、これから社会で生かしていきたいです」と意欲をのぞかせます。

また、田尻さんは今回のプランを「ベンチャー企業論の講義で教わった経済学部の阿比留先生、工学部の三島先生をはじめ、いろいろな先生方の助けがあったからこそできたこと」と語ります。

「福岡大学は、文系の学部でも理系の学部でも、自分の行動次第でたくさんの人とかかわることができる大学です。講義などでIT企業の社長さんの話が聴けるなど、今まで知らなかった理系分野の世界まで学ぶことができました。自分から積極的に動くことで成長できたと思っています。自分が所属している学部・学科の学びだけにとらわれずに、いろいろな可能性にチャレンジすることができる大学だと思います」。

最後に「ITビジネスのソフト側の立場で面白いものを提供していきたい」と夢を語ってくれた田尻さん。コンテストの受賞を大きな経験として、近い将来、起業家への道を歩んでいくのかもしれません。

知っていますか？

知っているようで、実は知らない
さまざまなトピックスを取り上げて解説

元「科捜研の男」ということもあり、大上先生の書棚には犯罪関連の書籍がずらりと並んでいます。「ジャンル的にニーズが少ないせいか、なかなか手に入らない本もたくさんあります」とのこと。

「記憶と関連付け」

学生の皆さんは出席した講義の内容をどれくらい記憶していますか？ 上手にノートを取ることで、内容を記憶する力は変わってきます。 今回は、「記憶」の研究を基にした効果的なノートの取り方について、 人文学部の大上渉先生に分かりやすく教えていただきました。

自分の言葉に置き換えてノートをまとめ直そう

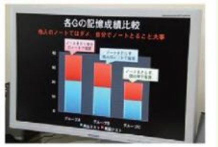
学生にとって、ノートを取ることは切っても切り離せない行為。しかし、ノートは単なる外部記憶装置であり、板書を書き写しただけでその内容が自分の記憶に入るわけではありません。

実際にアメリカで行われた実験のお話をしましょう。

ノートを取り、自分でまとめ直して復習するグループ①、自分ではノートを取らず、他人のノートを見て復習するグループ②、ノートを取らず頭の中だけで復習するグループ③を作り、3週間後に抜き打ちテストを行った結果、グループ①の成績が一番でした（資料参照）。つまり、講義の内容をしっかりと理解するには、自分の言葉に変換しながらノートをまとめ直すことが一番大切なのです。

心理学の基礎的な理論に「処理水準説」というものがあります。「記憶のされやすさは記銘（物事を覚えること）時の処理水準に依存する」といわれます。「処理水準が深い」というのは、情報を「より意味のあるものにする」と考えればいいでしょう。講義で取ったノートを見返して、書いている内容を自分でグループ分けしてみる、分からない用語はその場で調べて自分が理解しやすいような言葉に置き換えたり、説明を書き加えるなど、ノートをまとめ直すことで講義を自分にとって「より意味のある」ものにしていきましょう。

「カクテルパーティー効果」という言葉を知っていますか？ざわついたパーティ会場でも、自分が興味のあることに関する言葉や話はすぐに耳に入ってきます。記憶もこれと同じで、言葉や用語を視覚的に暗記するのではなく、自分に関連することとしてとらえる方が覚えやすいのです。では、専門用語が多い講義内容をどうやって自分に関連付けるのか。例えば、自宅の間取りや通学路を思い浮かべて結び付けるなど、関連付けの方法は何であっても構いません。



資料

三つのグループに分けて実験を行い、その後抜き打ちテストを行った結果、それぞれのグループの成績に大きな差が見られました。

周りの状況と一緒に記憶していく方法

テストを受けている時に、覚えたはずの内容が思い出せない。そのときに、ノートのどの辺りに書いたかを思い浮かべると、急に答えを思い出すことがあります。

これは「記憶の文脈依存性」というものです。ここでいう文脈とは、文章の脈絡という意味ではなく、周囲の状況や事柄の背景という意味です。警察が事情聴取をする際には、取調室で話を聞くより事件現場で話を聞いた方がより多くの情報を得られることが例として挙げられます。

つまり、学生の皆さんが講義内容を思い出そうとしたとき、その講義で自分が教室のどの辺りの席に座っていたか、隣や前に知り合いはいなかったかなどを思い出すことによって、自然と記憶がよみがえることがあるということです。

講義ごとに座る席を決める、同じ筆記具を使うなど、文脈＝状況を自分でつくっていくことで、講義内容を思い出しやすくできるでしょう。

早分かりコラム

特殊部隊員が銃撃戦で体験した不思議な力

銃撃戦を体験したアメリカ特殊部隊の隊員を対象に、極度のストレス状態で人の記憶がどのように変化するかを調査した研究があります。それによると、隊員は銃撃戦の最中の記憶をこう証言したそうです。

① 相手の動きがまるでスローモーションのように感じた。
② 相手から銃を向けられた時、引き金とそれにかかる相手の指以外は何も見えていなかった。
③ 自分の銃から飛び出る薬きょうの底部に刻まれた文字を、はっきりと読み取ることができた。

これらはどれも通常では考えられない状況です。自分の命が危機にさらされているほどの精神集中状況では、人は視野が極端に狭くなる「視野狭窄（きょうさく）」という状態になります。トイレットペーパーの芯（しん）を目に当ててのぞいているような状態が続くために、一点に集中した情報が鮮明な記憶として残ります。

学生の皆さんが、大学でこのような状況に置かれることはありませんが、一つの講義を受けるにしても、集中力を高めれば高めるほど、講義の内容が頭に入ってくるということです。ぜひ、集中力を持って講義に臨んでください。

先生から一言

福岡大学人文学部
大上 涉 講師

佐賀県警察本部の科学捜査研究所に勤務していた私から、警察官を目指す学生にひと言。とにかく何にでも興味を持って、一般教養をしっかり勉強すること。広い範囲の知識を身に付けることで、目の付け所が増え、犯罪の予防や事件解決のきっかけになります。産業廃棄物からIT関連まで、今の警官は情報と知識が勝負です。

平成22年度 福岡大学卒業式

希望と誇りを胸に 卒業生4,513人が いざ社会へ

式辞（平成22年度卒業式）

このたびの東北地方太平洋沖地震の被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の状況を新聞・テレビで見るたびに、被害の大きさに言葉を失ってしまいます。どうかこれ以上被害が拡がりませんよう、また多くの命が守られますよう一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

学部卒業生4,262人の皆さん、ならびに大学院修士修了251人の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。本学を代表して心からお喜び申し上げます。

また、ご家族の皆さま方、さらにご列席の皆さま方に心よりお祝い申し上げます。

本日の卒業式にあたり、私から卒業生の皆さんに、餞（はなむけ）の言葉を贈りたいと思います。

それは、WhyとHowという言葉です。この二つの言葉をぜひともよく噛（か）みしめていただき、今後の糧（かて）にしてもらいたいと思います。

まず、Why(なぜ)について述べてみます。社会科学で扱う社会現象には実にさまざまな異なる種類の現象あるいは事象があります。それらは、現実に起きている「あるがままの姿」であり、事実でありますが、私たちはそれを社会科学という学問で分析することになります。何を分析するのかと言いますと、その現象がどうして起きているのか、その因果関係あるいはメカニズムを解明することであります。〝どうして〟〝なぜ〟起きるのかを明らかにするわけですから、まさにWhyの分析ということを意味します。

もう少し付け加えて言いますと、「あるがままの姿」としての社会現象の背後に潜んでいるものは何か、その本質を問うことになります。社会現象をコインの表であるとすれば、コインの裏側にあるものを探ることであり、これが学問の大きな目的となります。よく大学とは、真理を探究する所であるといわれますが、社会現象の背後に潜んでいるものを真理として追究するわけです。

このように、Whyの分析によって、私たちは正しい現状認識をすることができるのです。

ここで、自分自身の身の回りの現象や問題を想定してみてください。そうすると、なぜそれが起きたのであろうかを問うことになります。つまりは、Whyの自己分析をしなければなりません。そうしなければ、正しい現状認識を持つことができないことになります。誤った現状認識をすれば、誤った対応策と行動に出ることになるわけです。

次に、How(どうするか)について述べます。社会現象について正しい現状認識ができたならば、その現状に対しどのように対処したらよいのか、あるいはその現状をどのように改善したらよいのか、といった問題にぶつかります。今度は、「あるべき姿」を描く必要があります。あるべき理想や目標を描き、どのような方策・手段を講じるべきかを考えることになります。社会現象や社会問題についてその「在り方」を追究するわけです。そこには、「何々をすべきである」という価値判断が入ってきます。ただし、例えば、人のものを盗むべきだという価値判断は、社会的に意味のない価値判断ですから、価値判断は社会的に意味のあるものである必要があります。どうしたらよいのかを問うことになりますから、正（まさ）にHowの分析になるわけです。

以上のように、学問とは、「あるがままの姿」と「あるべき姿」の二つを分析すること、言い換えると、Whyの分析とHowの分析を行うことにあります。そうすると、この学問の二面性から私たちは一つの教訓を得ることができます。

その教訓とは、皆さんが社会や組織の中での現象や問題、あるいは個人的な身の回りの現象や問題に直面したとき、Whyの分析とHowの分析を自ら行う必要があるということです。そして、そのときに注意してもらいたいのは、すぐにHowのほうに走らずに、まずはWhyのほうを重視し、Whyの分析をきちんとされ、それによって冷静で適切な現状認識をするように心掛けてもらいたいのです。

最後になりますが、ご父母の皆さまには何かとご支援・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。今後ともご健康に留意され、ますますご活躍されますようお祈り申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん、皆さんの前途が大きく開かれんこと、そしてよき人生を歩んでいかれますようお祈りしまして、私の式辞といたします。

平成23年3月19日

福岡大学長　衛藤 卓也

日本そして世界へ羽ばたく卒業生

七戸 龍さん

田中 千智さん

永井 謙佑さん

本学在学中に、課外活動において輝かしい成績を収めた七戸龍さん、田中千智さん、永井謙佑さんの卒業生3人に、平成22年度「福岡大学学長賞」が授与されました。

福岡大学で培った技術や精神力、経験などを、世界という次なるステージで発揮してほしいと思います。3人の今後のさらなる活躍を心より願っています。

【在学中の主な戦績】

七戸 龍さん
スポーツ科学部スポーツ科学科卒業 柔道部
- 第29回全日本学生柔道体重別選手権大会 男子100kg超級 優勝
- 2007 ドイツジュニア国際柔道大会 男子100kg級 3位
- 全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 男子100kg級 5位

田中 千智さん
スポーツ科学部スポーツ科学科卒業 陸上競技部
- 第94回日本陸上競技選手権大会 女子400m 優勝
- 国際競技会（スイス、フリブール） 女子400m 優勝
- 天皇賜杯第79回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子400m 優勝 など

永井 謙佑さん
スポーツ科学部スポーツ科学科卒業 サッカー部
- 第16回アジア競技大会 優勝
- 第25回ユニバーシアード 銅メダル
- 2009年総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 優勝
- 2010年FIFAワールドカップ日本代表帯同メンバー選出 など

Memory ～社会という次なるステージへ～

先生の研究から趣味、人柄までもじっくりレポート。

先生の研究

緻密なデータ分析で、
国の政策立案に貢献したい。

福岡大学 経済学部経済学科 准教授
栗田 高光
Takamitsu Kurita

時系列分析
—経済モデルを構築して、データの特性を明らかにする—

国家公務員として働くうちに湧き出てきた知識欲

栗田先生の専門は、計量経済学の一分野である時系列分析です。

「経済の時系列データには、株価やGDP（国内総生産）、物価指数といったものがありますが、それらはすべて経済活動を通じて観測されるデータです。実験から得られるデータではないので、コントロールできるものが限られてきます。このため、時系列データの特性に配慮をしないまま経済分析をしてしまうと、誤った経済政策を生むことになりかねません。政策立案に資する経済分析を行おうとすれば、時系列データの特性を明らかにすることがどうしても必要になります。そうしたデータ解析のために必要な統計的手法を研究しています」。

栗田先生には、経済企画庁（現在は内閣府の一部）や小泉政権下での経済財政諮問会議の事務部門で勤務した経験があります。そこで、国の規制改革や経済レポートを作成する業務にあたっていたそうです。

「国の経済政策に携わる仕事をするうちに、自分の統計学の知識の足りなさを痛感しました。もう一度しっかり学び直したいと考え、イギリスのオックスフォード大学に5年半留学しました。そこでD.Phil（博士号）の学位を取得し、縁あって福岡大学に勤めることになりました」。経済企画庁等での実務経験があるだけに、「理論的な美しさを追求した手法よりも、実務的な観点で使い勝手の良い手法を導き出すことにこだわっている」と言います。

「将来的には、国の政策立案に貢献できるよう、緻密なデータ分析に基づいた提言をしていきたいですね。それによって、福岡大学の社会貢献度をより高めていければと考えています」。

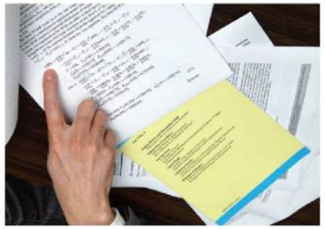
経済予測に役立つ分析

栗田先生の研究内容をもう少し詳しく探ってみましょう。「参考になれば」と言って、見せていただいたのは数式を駆使した数々のグラフ。

「これらのグラフは、為替レートや日経平均株価、原油価格といった、日経新聞などでもよく見掛けるもので、すべて時間とともに変化していくデータです。分析の対象はいろいろありますが、大事なことは、興味が持てるトピックであるかどうか、分析に足るだけのデータが得られるかどうか、論文として完成させるための枠組みにあてはまるかどうかです。

分析した結果は、かなり複雑な数式で表現されます。分析のステップとして、まず、その数式＝モデルを構築するための手法を考えます。どのような変数が入るか、未知のパラメータをどのように推定するか、解釈が可能なようにモデルをいかにスリム化するか。それらのプロセスを経て、将来をある程度予測できるようなモデルを組み立てて、経済政策に役立てていくわけです」。

写真は、イギリス留学時代の栗田先生。左奥に写っているのは、オックスフォード大学の校舎の一部。イギリス最古のオックスフォード大学では、試験の時に角帽とガウンを着用して臨む伝統があるそうです。



論文にはこのような複雑な数式がたくさん。経済学と数学の結び付きがいかに強いかを実感させられます。

まだ30代の栗田先生は、世代の近いゼミ生たちとも和気あいあい。それでも栗田先生は「たまに世代のギャップを感じることはありますよ」と笑います。

「モデルに基づく経済予測は、温暖化や気候変動といった自然現象の予測と似たところがあります。しかし経済の場合には、人間の感情や期待など、観測困難な要素が大きな役割を果たすことが多く、モデリングや予測において独自の難しさがあるといえます。過去のデータを用いて現在を説明し、将来をどれだけ予測できるか。歴史が現在をつくり、現在が未来をつくる、そういう時系列的特性を無視した将来ビジョンは、やはり信頼できるものとは言えません。経済のモデルを作るにあたって大切なのは、データと理論に向き合う真摯な態度だと考えています」。

栗田先生は、自分の研究を「限りなく統計学に近い経済学」だと言います。

「ひと言で表すなら、時系列分析の手法の一つである"共和分"が私の主要研究テーマ。複数の時系列データを同時に分析するもので、例えば、為替レートとマネーストックの間にどのような関係があるのか、などを調べるときに有効な手法です。数学を用いた理論、コンピューターシミュレーションを使った実験、実際のデータを使った分析、これが私の研究の三大要素ですね。三つのうち、どれが欠けても成り立ちません」。

不況の時代だからこそ学生は自分を磨く認識を

経済の専門家であると同時に、多くの学生を社会に送り出す立場でもある栗田先生は、現在の就職難の状況についてどのような見解を持っているのでしょうか。

「不況の時代にこそ企業の合理化努力は進んでいきます。しかし、見方を変えれば、これは学生の皆さんにとって自分を磨く認識を持つ機会になると思います。できるだけ上を向いて、この厳しい時代を前向きにとらえるように指導することを心掛けています」。

栗田先生が、ゼミで育てているのは経済の専門家。身近な経済問題を題材に学生を指導しています。

「ゼミでは、学生の自主性をとても大切にしています。前期は私が選んだ比較的理解しやすい、経済全般について書かれている本を一緒に読みます。後期からは、学生各自がテーマを決めて、自分で調べて発表してもらい、ゼミ生全員でディスカッションしていく形をとっています。ここで大切なことは、学生自身が自分の意見を持つこと。こうした意識を常に持つことで、自ら考える力が身に付くと思います」。

経済政策にかかわる国家公務員から、留学を経て学生を教える立場になった今、栗田先生の気持ちに少し変化があるとのこと。

「教壇に立つという今の立場では、以前の職場以上に、自分がリーダーシップを発揮して指導していかなければなりません」。

最後に福岡大学の学生に送るメッセージを頂きました。

「早いうちに自分の得意技を見つけて、それに磨きをかけてほしいです。それは自信にもなるし、自分を発奮させる材料にもなるはずです。広い分野の基礎力を上げることも大事ですが、何か一つ抜きん出るものを持つことも大切です」。

自分の考えをしっかりと持ち、これからの日本を支える経済通の社会人が、栗田先生のもとから毎年多数生まれていっています。

COLUMN
新（しん）
一歩目を踏み出す勇気を持って

誰でも新しいことにチャレンジするには勇気が必要です。私も、全く新しい研究で結果を出すには2、3年は要するので、興味があっても足がすくみます。しかし、動き出さなければ何も始まりません。まずは、一歩目を踏み出す勇気を持ってほしいと思います。
（栗田 高光）

充実 Campus Life

あなたは、毎日のキャンパスライフをどのように送っていますか？毎号1人の学生から、福岡大学のさまざまなキャンパスライフを紹介します。

小学校の先生を目指して、勉強と学友会活動に奮闘中。

人文学部教育・臨床心理学科 4年次生　浦上 紘暁さん

将来の目標が明確なのでゼミや講義の選択に迷いはありません

浦上さんは、昨年10月から学友会総務委員会の第54代委員長を務めていて、勉強と学友会活動に奮闘する毎日を送っています。「小学校6年生の時、担任の先生を見て、小学校の先生になりたいと考えるようになりました。子どもたちが自我を形成する大切な時期に携わることができるのが最大の魅力だと思います」と、先生へのあこがれを語る浦上さん。

将来の目標が明確なだけに、講義やゼミの選択にも迷いはありません。「専門的な内容が多いので、復習にかなり時間をかけていますが、それでも理解するのに時間が足りないくらいです」と浦上さん。小学校の教員になるために、小学校教育に関するエクステンション講座を受けたり、夏休みには他大学に行き、必要な科目の履修にも励んでいるとのこと。

学友会活動との両立は大変なようですが、「負けず嫌いな性格のおかげで両立できているのかもしれません」と笑う浦上さんの息抜きは、ヤフードームでの大好きなソフトバンクホークスの試合観戦。「だからというわけではないですが、福岡県内の小学校で教えたいですね」。

夢の実現に向けて、浦上さんの充実したキャンパスライフは続きます。

PICK UP

履修ゼミナール
専門演習Ⅱ／髙妻紳二郎 教授

先生役・生徒役となって30分の模擬授業を展開

浦上さんが所属するゼミでは、教員を目指す学生が模擬授業を行います。先生役となった学生が、授業の内容や学習指導案を事前に組み立て、30分の持ち時間で教壇に立ちます。生徒役となる他の学生は、模擬授業の後に先生役の学生に対してさまざまな感想や意見をぶつけていきます。

「自分にないものを他の誰かが見せてくれたり、仲間同士で刺激し合ったりすることができます。ただ、実際に先生役をやってみると、30分がとても長く感じます。学生同士で授業を行って意見をぶつけ合うので、一方的ではない新しい考え方や知識を得ることができます」と浦上さん。

1年次生の時から髙妻先生の講義を受けていたこともあって、「このゼミを選んだという浦上さんは、「髙妻先生の人を惹き付ける話し方が特に好きで、個別の相談にも乗っていただいています」とのこと。

社会科の模擬授業の1コマ。先生役の学生は、服装から先生になりきります。

髙妻先生からひと言

浦上くんは、冷静沈着で何事にも動じない性格。チャレンジ精神も旺盛ですし、頼りがいのあるリーダーの資質を持っていると思います。さらに希望を言えば、もっと主張をしてほしい。

小学校の教員は、中学・高校の教員以上に、児童はもちろん保護者とのコミュニケーションが大切です。彼には、その伸びしろが十分にあるので、ぜひ夢をかなえてほしいと思います。

PICK UP

履修講義
比較教育論／勝山吉章 教授

日本と世界各国の教育事情を比較する

勝山先生による、世界各国の教育事情を比較、検討していく講義です。

「教壇に立つことを目標としている以上、世界各国の教育の現状を学び、日本の教育の良い点と悪い点を理解しておくことは大切だと思い、この講義を履修しました」。板書ばかりの講義とは違って、勝山先生の学生を引き込むような話の内容や、興味深い資料によって進められます。

「他国との比較の中で、永遠の課題ともいえるいじめ問題や、学生の著しい学力低下など、日本教育の問題点があらためて浮き彫りになり、どうすれば解決できるかを今まで以上に深く考えるようになりました。自分が教壇に立ったときに、その問題点を頭に置きつつどう児童と接すればいいか。まだその答えは分かりませんが、これから真剣に考えて自分自身にしかできない"教え方"を確立していけたらと思います」。

他国の詳細な教育事情を知ることができるこの講義では、浦上さんだけに限らず、受講している学生の多くが、大きな刺激や気付きを受けているのでしょう。

勝山教授の独特の語り口もあって、講義を受ける学生にも笑顔があふれる。

講義で発表する浦上さん。

PICK UP

課外活動
学友会総務委員会

在学生の代表として学友会行事を取りまとめる

学友会総務委員会は、高校でいう生徒会のような組織。学術文化部会、体育部会、代議員会議長団などの各学友会組織と協力しながら、春の新入生歓迎オリエンテーションや代議員会、学生大会などの学友会行事を取りまとめます。その中での委員長の役割は、総務委員会運営の統括責任はもちろん、入学式や卒業式、学園祭などの大学行事で、学友会代表としてあいさつを行います。また、大学執行部や地域の方とのさまざまな話し合いの席に着いて、学生側からの意見を言うことも多々あり、重要な役割を任されています。

「末っ子で、わがままばかりを言いながら育ったせいか、人のために何かをすることにあこがれていました。総務委員会に入ってからは、『大学のため、学友のために活動できている』という実感があります。自分の学科だけではなく、大学全体のことが分かるようになり、地域や行政とのつながりを含めて、自分自身の視野がとても広がりました。活動は大変なときもありますが、それ以上にやりがいを感じています。他のサークル活動と同様に、仲間や先輩方との絆を大切にしながら、任期終了まで頑張っていきたいと思います」。

浦上さんを中心として、学友会のために活動する総務委員会のメンバー。

「新入生歓迎オリエンテーション」での委員長。

浦上さんへQ＆A

Q1 大学生の魅力、楽しいところとは？

A.履修したい授業を自分で選べるため、自分の考えに沿った勉強スタイルが組み立てられます。自分のしたいことに思いっ切り挑戦できる環境をつくることができるのが最大の魅力だと思います。

Q2 教育・臨床心理学科の魅力とは？

A.教育と心理は表裏一体であると考えられています。本学科ではそのどちらも専門の先生から経験に基づいたお話を聞くことができます。また、教員やカウンセラーになりたい、という共通の将来の目標を持った仲間たちが多いので、切磋琢磨しながら一緒に悩みや不安を乗り越えて成長できる雰囲気があるのも大きな魅力です。

Q3 福岡大学の魅力とは？

A.総合大学なので、学生の数が多く、学部・学科を越えた交流ができます。現に総務委員会のメンバーにも文系・理系どちらの学生もいます。また、PC教室や2012年春に竣工予定の新中央図書館など、学びの施設・設備がとても充実していると思います。他大学の友人と話した時、本学の素晴らしさを本当に感じました。課外活動においても優秀な成績を残している学生が多く、同じ大学の学生の活躍が自分のことのようにうれしくなります。文武両道ができている大学だと思います。

授業がある日の平均的なスケジュール

学生大会で答弁する浦上さん。

授業の後は、総務委員会室や図書館で読書することが多いそうです。

学友会執行部で阿蘇へ旅行。

一番多く利用する学食は第一食堂。写真はすずランチ（チキンカツとみそ豚炒め）400円。

生徒役として授業に臨む浦上さん。

七隈4丁目、家賃39,150円のアパートで一人暮らし。ご飯は毎日炊くそうです。

高妻ゼミの仲間たちと。

大学へは、毎日自転車で通学。

福岡大学を知る

福岡大学は昭和9年に創立された歴史と伝統のある大学です。
新入生の皆さんに知ってほしい、
本学のあゆみや校章・校歌に込められた意味などを紹介。
本学の一員であることを再確認し、充実した学生生活の一歩を踏み出しましょう。

「校章」

福岡大学は、昭和9年に福岡高等商業学校として発足して以来、19年九州専門学校と統合し九州経済専門学校を設立、21年福岡経済専門学校と改称、24年福岡外事専門学校と統合し福岡商科大学を設立、31年法経学部の増設に伴い福岡大学と改称し今日に至ります。

これらの組織の変更や改称のたびに校章も改定してきましたが、現在使われている校章は昭和59年、本学の創立50周年を機に、これまでの歴史と伝統を踏まえて、新たに制定したものです。

福岡高等商業学校の校章は、昭和9年学校設立の年に制定されました。この意匠は、福岡県商工課後藤雅路によるもので、「外形のフ形9つは福岡の「福(フク)」を示し、さらに旭(熱光)を表しています。下に飛躍の翼と商業神マーキュリーを配し、中に炬火を入れて烈々燃えるがごとき勉学の意味を表現したものです。(夕刊「九州日報」昭和9年5月24日)」

福岡大学の校章の意匠は、これを基本に「大学」の文字を囲んで、上部に学部間の強固な結束を9つの山形で表し、基部に飛躍の双翼を配して、その中心に発祥学部ゆかりの商業神マーキュリーを模し、いっそうの国際化を目指す福岡大学のイニシャルFUを据え、これに燃えさかる向学の炬火を冠しました。なお、この意匠は、本学の原図に基づいて、西島伊三雄が補作したものです。

福岡大学の校章

福岡高等商業学校の校章

「授業の開始終了のチャイム」

現在の福岡大学の授業開始終了時に流れているチャイムは、本学創立50周年記念歌「七隈グラフィティ」前奏部分のメロディです。昭和60年2月からこのチャイムが使われています。それ以前は、頭上からの甲高い音のサイレンで、その後、英国ウェストミンスターの鐘(ビッグベン)のいわゆる"キーンコンカーンコン"のチャイムで授業の始終を知らせていました。前身校の福岡高等商業学校から福岡商科大学までは、用務員さんが廊下を歩いて手で鐘(写真)を振り"カランカラン"とその時を知らせていました。

なお「七隈グラフィティ」は、本学公式ウェブサイトから聴くことができます。

福岡高等商業学校から
福岡商科大学までチャイムの
代わりに使われていた鐘。

「福岡大学校歌」

本学の校歌は、昭和34年に創立25周年記念事業の一環として作られました。詩は本学職員・学生から公募し、校歌委員の狩野満(大正4年生まれ・当時教養部教授)のものが採用されました。狩野は京城帝国大学卒、福岡外事専門学校教授で専門は日本文学。また作曲は飯田信夫(明治36年生まれ)。飯田は東京帝国大学卒業後、山田耕筰に師事し作曲を学びます。昭和6年制定の早稲田大学第一応援歌「紺碧の空」は作曲古関裕而で編曲が飯田です。また飯田の傑作「隣組」(昭和15年)は当時の国民歌謡として親しまれました。

福岡大学校歌

狩野 満 作詞
飯田信夫 作曲
平井哲三郎 編曲

一、筑紫野は
玄海の汐ざいはるか
脊振ねを指さすところ
うつくしきわれらが母校
　われらが理想
道こそはけわしかれ
人らしき人にあるべく
輝ける明日を望みて
若き日の今日を学ばん

二、とうときは
もゆる火の熱きいのちか
経世の旗かざしつつ
たくましきわれらが母校
　われらが抱負
夢こそは大いなれ
あたらしき土ふみしめて
花散ろう春には酔わじ
ゆたかなる秋を祈らん

三、ゆかしきは
自由なる学のほこりか
友情の若草もえて
讃うべきわれらが母校
　われらが使命
時こそはやがて逝け
うつろわぬ誠を胸に
つどいあう今日を歌わん
ひらけゆく明日を歌わん

A proof of the passion

情熱の証

伝統ある体育系部活動を
取りまとめながら
全学的な応援活動を
企画していく

体育部会
常任幹事会

学友会体育部会は42部1同好会、約2,000人の会員で構成されています。体育部会常任幹事会は、常任幹事と次期常任幹事の計12人で活動しており、2月の幹部研修会、5月の新人研修会などの全体行事の運営を行います。

その中でも最大の行事は、体育部会に所属する4年次生を送別する「合同送別会」。毎年12月にヒルトン福岡シーホークホテルの大ホールを貸し切って行われますが、「4年次生を盛大に送別したいので、事前準備に2カ月以上の時間を要します。企画・当日の運営などを常任幹事全員で試行錯誤しながら考えていきます」と第56代幹事長の杉郁弥さんは語ります。今年も12月に行う予定、昨年以上の送別会にしたいと意気込みます。

また、体育部会全体の課題として次のようなことを杉さんは挙げてくれました。「各部部員の中には、体育部会という組織の存在自体を知らない人もいます。もっと活発に活動して、その意識を変えていきたい」と語るように、野球、サッカーなどの試合では、各部に動員を呼び掛け、皆が応援に駆け付けるなど、各部の連携を図った活動を実施しています。

輝かしい実績と伝統を誇る体育部会のさらなる活躍を楽しみにしましょう。

情熱メッセージ

第56代幹事長(硬式野球部 所属)
スポーツ科学部スポーツ科学科 4年次生
杉 郁弥さん

体育部会の中でコミュニケーションを取りながら、互いの信頼関係を築き、より多くの人に体育部会の存在を知ってもらいたいと思います。また、総務委員会、学術文化部会といった他の学友会組織とも連携して、各部の試合で全学的な応援を行い、福岡大学そのものを盛り上げていきます。

福西戦では、応援指導部を中心に、在学生、卒業生、教職員が集まり大応援団を結成。野球部の勝利を後押しします。今年は5月15日(日)桧原球場で開催予定。

2月には、各部の横断的な交流を目的とする「幹部研修会」を実施。約100人の各部主将と幹事が参加。

部・同好会紹介

【学術文化部会】

法律研究部
経営学研究部
会計学研究部
珠算研究部
社会科学研究部
英語研究部
ゼミナール連合部
新聞部
文芸部
美術部
写真部
演劇部
映画研究部
弁論部
メール・ハーモニー部
器楽部
囲碁部
聖書研究部
音楽研究部
書道部
謡曲部
将棋部
茶道部
放送研究部
マンドリンクラブ
薬学研究部
無線部
吟道部
ユースホステル研究部
歴史研究部
ペン習字部
落語研究部
生物研究部
経済学研究部
旅研究部
英文タイプ研究部
速記研究部
交響楽団
経済学史研究部
経済理論研究同好会

【体育部会】

福大スポーツ編集局
陸上競技部
水泳部
柔道部
剣道部
空手道部
弓道部
ボクシング部
野球部
準硬式野球部
庭球部
ソフトテニス部
バスケットボール部
バレーボール部
卓球部
バドミントン部
サッカー部
ラグビー部
山岳部
航空部
アイスホッケー部
スピードスケート部
モーターボート・水上スキー部
ヨット部
自動車部
スキー部
重量挙部
体操競技部
馬術部
レスリング部
合氣道部
ワンダーフォーゲル部
アーチェリー部
少林寺拳法部
ソフトボール部
フェンシング部
応援指導部
(リーダー部門)
(ブラスバンド部門)
ハンドボール部
少林拳法部
新体操競技部
スカッシュラケット部
アメリカンフットボール部
ゴルフ部
なぎなた同好会

【学術文化部会/商学部第二部】

茶道部
新聞部
映画研究部
音楽研究部
器楽部
広告研究部
写真部
放送研究部
文芸部
美術部

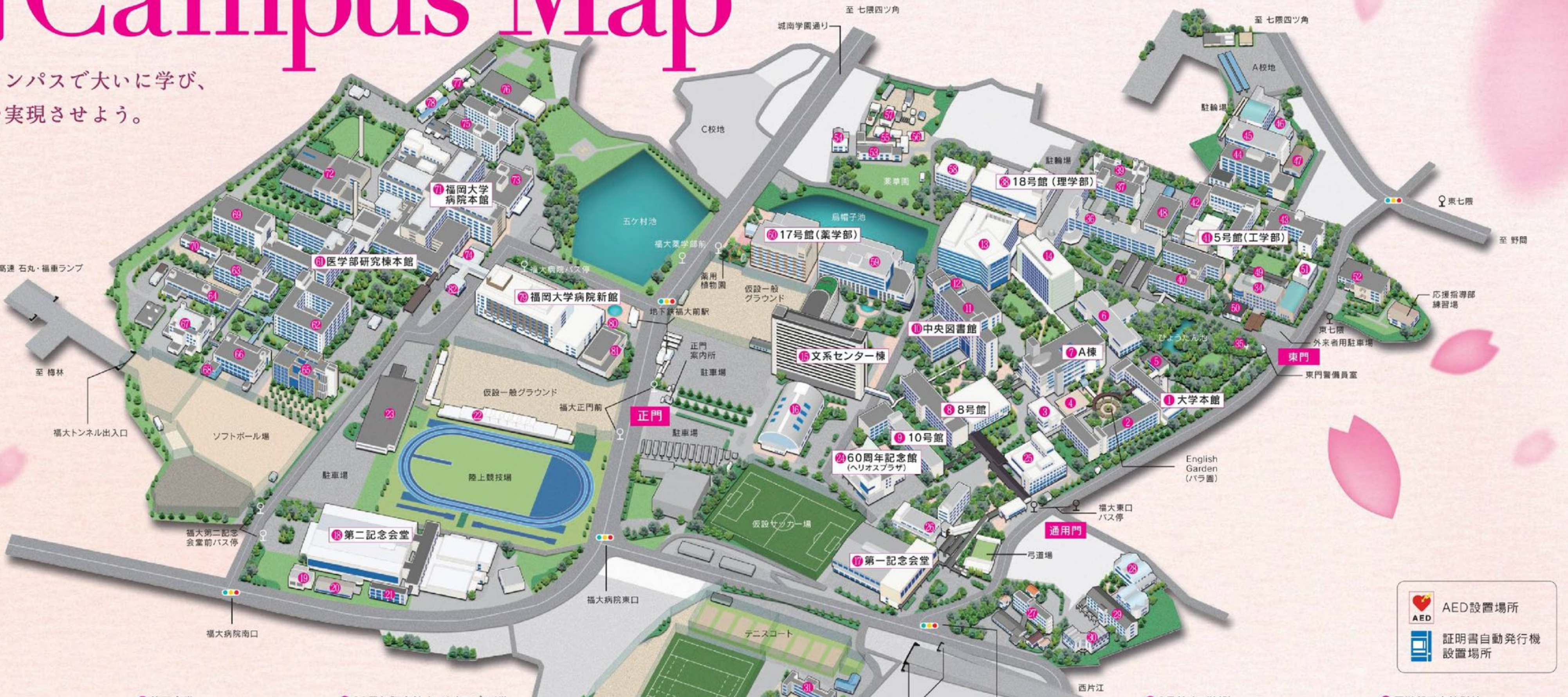
【体育部会/商学部第二部】

山岳部
空手道部
準硬式野球部
柔道部
卓球部
馬術部
剣道部
バレーボール部
少林寺拳法部
バドミントン同好会

福岡大学

Campus Map

広大なキャンパスで大いに学び、
自己の夢を実現させよう。



❶ 大学本館
- 会計課（1F）広報課（3F）
- 事業課（2F）

❷ 7号館
- 臨床心理センター（3F）
- 言語教育研究センター（4F）

❸ 学生部事務室棟
- 学生課（1F）
- ヒューマン ディベロップメントセンター（HDセンター：学生相談室）（3F）

❹ エクステンションセンター

❺ 健康管理センター／福岡大学診療所（1F）

❻ 1号館
- 就職・進路支援センター（1F）
- 国際センター（1F）

❼ A棟
- 商学部事務室［含第二部］（地下1F）

❽ 8号館
- ラウンジ「オアシス」（1F）
- 教職課程教育センター（2F）

❾ 10号館

❿ 中央図書館

⓫ 図書館ゼミ棟
- レストランGarden（1F）
- コーヒー・ラウンジ（2F）
- 大学院事務課（3F）

⓬ 第四食堂

⓭ 新中央図書館棟（仮称）［建設中］

⓮ 2号館［建設中］

⓯ 文系センター棟
- プラザ50（1F）
- 非常勤講師控室（1F）
- 教務課
- 人文・法・経済学部事務室（1F）
- 共通教育センター（1F）
- 言語教育研究センター（1F）
- 入学センター（2F）
- 総合情報処理センター（3F）
- 研究推進部（4F）
- 都市空間情報行動研究所（11F）
- スカイラウンジ（16F）

⓰ 公認室内プール

⓱ 第一記念会堂

⓲ 第二記念会堂
- 身体活動研究所（1F）
- スポーツ科学部事務室（3F）

⓳ スカッシュラケット棟

⓴ 体操ピット棟

㉑ スポーツ科学部研究室棟

㉒ 陸上競技場部室棟
- 福岡大学・福岡大学病院有料駐車場

㉓ 福岡大学・福岡大学病院有料駐車場

㉔ 60周年記念館（ヘリオスプラザ）
- モスバーガー（1F）
- ヘリオスホール（3F）
- 地域ネット推進センター（4F）

㉕ 学而会館
- 第一食堂（1F）
- 第二食堂（2F）

㉖ 有朋会館

㉗ 自修寮

㉘ 体育部会ビクトリーホール

㉙ 愛好会会館

㉚ オリオンホール

㉛ 体育寮

㉜ 片江研修館

㉝ 国際交流会館

㉞ 法科大学院・図書分室棟［15号館］
- 法科大学院事務室（2F）

㉟ 学校適応支援教室「ゆとりあ」

㊱ 9号館（理学部）
- 理学部事務室（1F）

㊲ 9号館別館（理学部）

㊳ 18号館（理学部）

㊴ RIセンター

㊵ 4号館（工学部）

㊶ 5号館（工学部）

㊷ 5号館別館（工学部）

㊸ 6号館（工学部）

㊹ 11号館（工学部）
- 工学部事務室（1F）

㊺ 14号館（工学部）
- 高機能物質研究施設（2・5F）

㊻ 流体工学実験室（工学部）

㊼ 第2材料力学実験室（工学部）

㊽ コンクリート実験室（工学部）

㊾ ラウンジ「和（なごみ）」

㊿ 環境科学技術実証施設棟

51 空気力学実験室（工学部）

52 高電圧実験室（工学部）
- 第三食堂（1・2F）

53 衛生工学実験室（工学部）

54 水理土木研修館（工学部）

55 水理衛生工学実験室（工学部）

56 水理衛生工学教室棟（工学部）

57 廃棄物埋立大型シミュレータ棟（工学部）

58 3号館第三別館
- 環境保全センター（4F）

59 薬学部棟［16号館］
- 薬学部事務室（1F）

60 17号館（薬学部）

61 医学部研究棟本館
- 医学部事務課（1F）
- てんかん分子病態研究所（5F）

62 医学部研究棟別館
- 第六食堂（地下1F）
- 第七食堂（地下1F）

63 医学部講義棟

64 医学部実習棟

65 医学部看護学科棟
- 医学部事務課看護学科事務室（1F）

66 医学部RI講義棟

67 アニマルセンター

68 先端分子医学研究所

69 医学情報センター棟

70 医学部愛好会室棟

71 福岡大学病院本館

72 福岡大学病院西別館

73 救命救急センター棟

74 福岡大学病院情報管理棟

75 福岡大学病院研修センターA棟・B棟

76 人文学部 教育・臨床心理学科棟

77 デイケア棟別館

78 福岡大学病院デイケア棟

79 福岡大学病院新館

80 福大プラザ（地下）

81 福大メディカルホール

82 福岡大学病院前テナント棟［建設中］

学術文化部会 常任幹事会

学術文化系の部活動
39部1同好会をまとめ
周辺地域の方々との
交流も図っていく

学術文化系の課外活動は、39部1同好会、会員総数約1,500人で構成され、それを取りまとめるのが学術文化部会常任幹事会です。各部から選出された6人が常任幹事として、年間行事やそれぞれのクラブの活動をサポートしています。各部の新入部員を増やして活動を活性化させるために、新入生オリエンテーションで配布する学術文化部会紹介パンフレットの制作も、常任幹事会の大切な仕事の一つです。

「まずは各部員がさまざまな学術文化に対して興味を持ってもらいたい」と語るのは、第54代幹事長の西山龍之介さん。全体行事を通じて、各部員の意識を高めようと毎日6人で奮闘中です。6人という少人数なので、常任幹事の意見だけではなく、各部の幹事を集めて行う「幹事会」も頻繁に開催し、各部の意見や要望をしっかり聞いて常任幹事会の活動にフィードバックしているとのこと。

学術文化部会の最大行事は、学術文化祭。展示や発表会、音楽系のクラブによる「音楽の夕べ」など、学生や教職員はもちろんのこと、周辺地域の方々に、日頃の活動の成果を見ていただけるよう、運営から情宣活動まで幅広いサポートを行います。

「常任幹事と各部部員が一丸となって盛り上げたい」と語る皆さんの活動に期待しましょう。

情熱メッセージ

第54代幹事長（旅研究部 所属）
工学部電子情報工学科 4年次生
西山 龍之介さん

学術文化活動に対する一般学生の意識は、まだまだ高いとはいえません。活動するクラブ側も、自分たちの自己満足で終わることがないように、多くの学生、地域の方々を巻き込んだ活動につなげていきたいです。体育部会などとも互いの組織の交流、意見交換をしながら、課外活動全体を盛り上げていきます。

最大行事となる学術文化祭は、毎年6月に開催。写真は「音楽の夕べ」。

2月に行われる春季学文会合同研修会。次年度の活動につなげることを目的に、各部1,2年次生が集まって意見交換。

愛好会紹介

【一般体育系】
舞踏研究会
フィットネス愛好会
ライフル射撃愛好会
沖縄空手道愛好会
サイクリング愛好会
ローバース愛好会
サッカー愛好会
ラクロス愛好会
合気道愛好会
水泳愛好会
ビリヤード愛好会
軟式野球愛好会
テコンドー愛好会
ライフセービング愛好会
武道空手愛好会

【一般学術文化系】
点訳愛好会
ニューソート研究会
華道愛好会
原理研究会
現代文明研究会
フォークソング愛好会
スペインギター愛好会
ステージアソシエーション
アナウンスメント研究愛好会
ライトミュージック愛好会
ボランティアサークル
児童文化研究会
C・P・A受験研究会
レクリエーション研究愛好会
アイセック愛好会
SF超常研究会
漫画研究会
鉄道研究愛好会
福大ポスト
天体観測の会
キャンパススポーツ愛好会
混声合唱愛好会
フランス語研究会
自然食研究会
外国人留学生会
福大国際交流倶楽部
教育研究会
混声合唱団ハートフルボイス
百人一首愛好会
TRPG愛好会

【文系学部体育系】
フットフォールト硬式庭球愛好会
ラグビーフットボール愛好会

【理学部】
応用物理研究会
ソフトテニス愛好会

【工学部】
土木研究会
インテリアデザイン研究会
七隈好岳会
建築交流会
情報科学研究会

【薬学部】
準硬式野球愛好会
バレーボール愛好会
バスケットボール愛好会
サッカー愛好会
スコール硬式テニス愛好会
バドミントン愛好会
硬式テニス愛好会
卓球愛好会
ソフトボール愛好会
軟式庭球愛好会
剣道愛好会
バドミントン愛好会

【商学部第二部】
将棋愛好会
児童文化研究愛好会

【医学部】
英語研究会
社会医学研究会
写真愛好会
医用電子科学研究会
音楽愛好会
ラグビー愛好会
バスケットボール愛好会
準硬式野球愛好会
アーチェリー愛好会
ゴルフ愛好会
剣道愛好会
サッカー愛好会
バレーボール愛好会
競技スキー愛好会
硬式庭球愛好会
柔道愛好会
卓球愛好会
空手道愛好会
フェンシング愛好会
ソフトテニス愛好会
漕艇愛好会
軟式野球愛好会
ワンダーフォーゲル愛好会
バドミントン愛好会
水泳愛好会
弓道愛好会
ウインドサーフィン愛好会

福岡大学のあゆみ

1934年4月	福岡高等商業学校を創立
1944年4月	福岡高等商業学校と九州専門学校（財弘文学舎設置）を統合し、九州経済専門学校と改称
1946年4月	福岡経済専門学校と改称
1949年4月	福岡経済専門学校と福岡外事専門学校（財福岡外国語学園設置）を統合し、福岡商科大学（商学部商学科）を設立
1950年4月	福岡商科大学短期大学部第一部（商経科・貿易科・英文科）・第二部（商経科・貿易科・英文科）を併設
1953年4月	商学部第二部（商学科）を増設
1956年4月	福岡大学と改称
	法経学部（法学科・経済学科）を増設
1958年3月	福岡大学短期大学部を廃止
1959年4月	法経学部を分離し、法学部（法律学科）および経済学部（経済学科）を増設
1960年4月	薬学部（薬学科）を増設、法学専攻科、経済学専攻科および商学専攻科を設置
1962年4月	工学部（機械工学科・電気工学科）を増設
1964年4月	工学部に土木工学科および建築学科を増設
1965年3月	法学専攻科および経済学専攻科を廃止
4月	大学院（法学研究科民刑事法専攻、経済学研究科経済学専攻の各修士課程）を設置、薬学専攻科を増設
1966年4月	薬学部に製薬化学科、工学部に電子工学科を増設
1967年4月	商学部に貿易学科を増設、法学研究科に公法専攻修士課程、民刑事法専攻博士課程および経済学研究科に経済学専攻博士課程を増設
1968年3月	商学専攻科および薬学専攻科を廃止
4月	経済学部に産業経済学科を増設、商学研究科商学専攻および薬学研究科薬学専攻の各修士課程を増設
1969年4月	人文学部（文化学科・英語学科・仏語学科）および体育学部（体育学科）を増設、工学部に化学工学科を増設
1970年4月	理学部（応用数学科・応用物理学科・化学科）を増設、人文学部に独語学科、法学部に経営法学科を増設、商学研究科に商学専攻博士課程および工学研究科機械工学専攻、電気工学専攻の各修士課程を増設
1971年4月	法学研究科に公法専攻博士課程を増設
1972年4月	医学部（医学科）を増設
1973年8月	福岡大学病院を開設
1974年4月	工学研究科に化学工学専攻修士課程を増設
1975年4月	薬学研究科に薬学専攻博士課程を増設
1976年4月	理学研究科応用物理学専攻および化学専攻の各博士課程を増設
1978年4月	医学研究科人間生物系専攻、感染生物系専攻、病態構造系専攻、病態機能系専攻、病態生化学系専攻および社会医学系専攻の各博士課程を増設
1982年4月	人文科学研究科英語学英米文学専攻、仏語学仏文学専攻の各修士課程および理学研究科に応用数学専攻修士課程を増設
1985年6月	福岡大学筑紫病院を開設
1987年4月	人文学部に歴史学科および日本語日本文学科を増設
1990年4月	理学研究科に応用数学専攻博士課程、工学研究科に電子工学専攻、建設工学専攻の各修士課程および体育学研究科体育学専攻修士課程を増設
1992年4月	人文科学研究科に史学専攻、日本語日本文学専攻および独語学独文学専攻の各修士課程を増設
1993年4月	工学研究科にエネルギー・環境システム工学専攻および情報・制御システム工学専攻の各博士課程を増設
1994年4月	人文科学研究科に史学専攻および日本語日本文学専攻の各博士課程を増設
1995年4月	人文学部独語学科および仏語学科をドイツ語学科およびフランス語学科に改称
1997年4月	人文科学研究科に英語学英米文学専攻、独語学独文学専攻、仏語学仏文学専攻の各博士課程および理学研究科に地球圏科学専攻修士課程を増設
1998年4月	理学部に地球圏科学科を増設、工学部電子工学科を改組して電子情報工学科、体育学部を改組してスポーツ科学部（スポーツ科学科・健康運動科学科）を増設
1999年4月	人文学部に東アジア地域言語学科、商学部に経営学科を増設
	人文科学研究科に社会・文化論専攻修士課程および理学研究科に地球圏科学専攻博士課程を増設
2000年4月	人文科学研究科に教育・臨床心理専攻修士課程を増設
2002年4月	人文科学研究科に教育・臨床心理専攻博士課程および工学研究科に資源循環・環境工学専攻修士課程を増設
2003年4月	工学部化学工学科および土木工学科を化学システム工学科および社会デザイン工学科に改称
	体育学研究科体育学専攻をスポーツ健康科学研究科スポーツ健康科学専攻に改称
2004年3月	工学部電子工学科を廃止
4月	スポーツ健康科学研究科にスポーツ健康科学専攻博士課程を増設
	法曹実務研究科法務専攻専門職学位課程（法科大学院）を増設
	薬学部薬学科および製薬化学科を医療薬学科および生命薬学科に改称
	工学研究科電子工学専攻および化学工学専攻を電子情報工学専攻および化学システム工学専攻に改称
2005年3月	体育学部体育学科を廃止
2006年4月	薬学部医療薬学科および生命薬学科を改組して薬学科（6年制）を増設
2007年4月	人文学部に教育・臨床心理学科、医学部に看護学科を増設
2008年4月	理学部応用物理学科を物理科学科に改称
	医学研究科人間生物系専攻、感染生物系専攻および病態生化学系専攻を人体生物系専攻、生体制御系専攻および先端医療科学系専攻に改称
2010年4月	薬学研究科に健康薬科学専攻修士課程を増設
9月	薬学部生命薬学科を廃止
2011年4月	医学研究科に看護学専攻修士課程を増設

誰もやっていないことにチャレンジすることが大切

新しいプロジェクトに挑戦する方が成長できる

目覚ましい経済発展を遂げる中国。中でも、上海市は中国最大の経済都市として、世界中の企業が進出を続けています。そのような上海市に、ユニクロが2010年に旗艦店としてオープンさせたのが、アジア最大の〝上海南京西路・グローバル旗艦店〟です。黒瀬さんは、オープン時から同店の店長として活躍しています。

黒瀬さんがユニクロを展開する株式会社ファーストリテイリングに入社したのは、本学を卒業した1995年。

「学生時代にスーパーストアでアルバイトをしていて、小売業の店長って格好良いな、と素直に思ったのが入社のきっかけです。小売の物の流れに興味を持った時期に、完全実力主義を打ち出して社員を募集していたのが今の会社。入社してすぐに、人が足りない、でも店舗展開は拡張するということで、集中的に厳しい教育を受けました」と当時の様子を懐かしそうに語る黒瀬さん。

入社した年の秋には中間店の店長となり、5年後には福岡地区のスーパーバイザーに就任。2005年には、ユニクロとして国内最大、スタッフ200人を有する銀座店の店長としてオープニングから奮闘。一時、本部で管理業に就きますが、上海店のオープンが決まると自ら進んで店長に立候補したと言います。

「店長として最前線の現場で働くのが好きなんです。新しいプロジェクトにチャレンジする方がやる気が出るし、自分も成長できますから。店長職は、常にスタッフの2歩、3歩先を考え、誰よりも早く行動・実行しなければなりません。それこそがチャレンジだと思いますし、いつの間にかそれが自分でも習慣化していたところがあります」。

店長を務めた店舗で5年連続売上1位を記録するなど、国内で優れた業績を上げてきた黒瀬さんですが、初の海外赴任でアジアの旗艦店となる重要な店舗を任された当初は、さまざまな苦労があったと語ります。

「上海店のオープニングスタッフは270人で、そのほとんどが現地の中国人でした。教えたことを〝分かってくれただろう〟とある程度の手応えを感じても、結果は全く逆だったりすることも多かったです。自分のマネジメントスキル以前に、日本人と中国人の文化や意識の違いがあることを痛感しました。でも、スタッフの自分自身を高めようとする意識や、新しいもの、良いものに対する感度はすごく高いと思います。そこにビジネスのチャンスがあるということを実感しています」。

苦労することばかりではありません。店長職を通じて、そして上海という環境でさまざまなことを学んでいるそうです。

「個人がどうやったら自発的に動いてくれるのか、それを考えながら仕事をすることで、人を大切にするということを学びました。そして、中国のお客さまは、同じ商品を何着も繰り返し試着した後、自分が満足できる一着を買っていきます。一つの商品を選ぶこと、お金を使うことに対してとても真剣なのです。だからこそ、売る側もお客さまを絶対に裏切ってはいけないと自然と考えるようになります。衣料の商売を通じて、お客さまから教えられることがたくさんあります」。

株式会社 ファーストリテイリング
ユニクロ 上海南京西路・グローバル旗艦店
スーパースター店長
黒瀬 友和 さん
商学部貿易学科1995年卒業

旗艦店オープン時の様子。オープンを待ちに待ったお客さまが長蛇の列をつくりました。

人との出会いを求めて福岡大学に進学

黒瀬さんは、福岡大学に入学する前から商いや貿易、つまり国際ビジネスに興味があったと言います。古くから貿易の場として発展してきた福岡の地域性、国際ビジネスを専門的に学べる貿易学科があること、そして何より多くの人がワンキャンパスに集まる総合大学としての魅力に惹かれて、本学に進学したそうです。

「1年次の時に貿易学のゼミ、2年次の時に経済学のゼミ、そして3、4年次では、商いをするならお金に関係することを学ぶ必要があると思い会計学のゼミに入りました。そのゼミには税理士や会計士を目指す人などさまざまな人がいて、お互いの将来ビジョンを語り合うことはとても刺激的でした。在学中に会計学を学んだことは、今の仕事にもとても役立っています。〝数字〟という説得力のあるものに対しては、日本人でも外国の人でも納得してくれますから。その数字を導き出すことができるスキルを持っているのといないのとでは、マネジメント上で大きな差が出ると思います」。

ゼミで会計学を学ぶ一方で、現在は消滅してしまった〝なべの会〟というサークルでも積極的な活動をしていました。春の七草など、実際に自然の中に生息する野草を見つけて野外で料理をするサークルです。

学生時代に購入したBIG MACのネルシャツ。購入して16年がたちますが、いまだに着用しているお気に入りの一着。

「人数の多いサークルだったので、多くの人と出会うことができました。サークル仲間とは今でも交流が続いています」。

ゼミやサークルなど、充実した大学生活を送ってきた黒瀬さんですが、「もっと勉強しておけば良かった」と思うこともあると言います。

「たくさんの人と出会って切磋琢磨できた部分は確かに良かったと思うのですが、海外留学や旅をしたという人の話を聞くと、自分が大学生活という貴重な時間の中で何をしたかったのか、それをもっと考えて行動すれば良かったと反省することがあります」。

そのような自らの反省も踏まえた上で、黒瀬さんから在学生の皆さんに次のようなアドバイスを頂きました。

「在学中にいろいろな経験を積むことが大切。海外留学でも一人旅でもいいので、一歩外へ踏み出すことをお勧めします。それは自分自身を変える大きなきっかけとなるはずです。そして、周りがやるからやるのではなく、周りがやっていないことを誰よりも早くやること。それが何かが分からなければ、海外に行って肌で感じ取ってほしいと思います。そうすれば、必ず自分の進むべき道が見えてくるはずです」。

ユニクロの世界への挑戦が続く限り、これからも黒瀬さんは自ら手を挙げ、新しいことに次々とチャレンジしていくことでしょう。

スーパースター店長制度

ユニクロ各店舗の店長を、業績や実力によって「新任」「一人前」「スター店長」「スーパースター店長」の4段階に分けて、責任や権限、給与の幅を変える制度。黒瀬さんは、最高ランクにあたる「スーパースター店長」を務めています。スーパースター店長は、他の店長とは異なり、独自で社員教育や販売方法などを判断して、実践することが可能な役職です。

旗艦店の店内の様子。カラフルな商品や、斬新な形でディスプレーされたマネキンが店内を埋め尽くしています。販売促進のためのさまざまな工夫が随所に見られます。

鮮やかな光を放つ建物が、夜になっても多くのお客さまを惹き付けます。

オープン前の前工程（建設現場）に立ち会うことは、お客さまへのサービスと同じくらい重要とのこと。

店員にアドバイスする黒瀬さん。「人を大切にする」いう気持ちを常に忘れずに日々奮闘しています。

就活日記 My チャレンジ

先輩たちの経験を参考に、未来の自分を見つけよう。

SUCCESS 1

大学時代にこそ、自信を持って「これをやった」と言えるものを。

株式会社
三井ハイテック

工学部化学システム工学科
2009年卒業

篠田 安弘さん

運命を左右したオーケストラ活動

「実は、在学中に留年の危機もあったんです」。

現在、三井ハイテックエッチング事業部に勤める篠田さんは、大学生活を振り返ってそう語ります。

「1年次から4年次まで、ずっとオーケストラに所属していたのですが、その活動にのめり込み過ぎて、気付いたら就職活動の開始が遅れ、『これは危ない』という状況でした」。

しかし、就職の道を開いてくれたのも、オーケストラの活動でした。

「西南学院大学や福岡教育大学など5大学のオーケストラで、毎年合同演奏会を行っており、その演奏会の運営実務を2年間していました。他大学を含めて約150人もの大所帯をまとめるために、知らない人とも話ができるようになり、自然とコミュニケーション力が身に付いていました。でも、能力以前に、就職活動で『オーケストラ活動を真剣に頑張った』と自信を持って伝えられたのが大きかったです」。

楽器演奏の経験がある面接担当者と話が合って、面接の雰囲気が一気に和んだこともあるそうです。

受け身で説明会に行くのはやめようと思った

篠田さんが、実際に就職活動を始めたのは3年次の10月から。化学系を専攻する学生の採用実績がある会社を中心に活動しましたが、一番こだわった点は勤務地だったと言います。

「生まれ育った福岡で働きたいという気持ちが強かったので、福岡と熊本を拠点とする三井ハイテックは第一志望でした。採用は、化学系より機械工学系の人が多いのですが、化学薬品を使ってICリードフレームなどを作るエッチング事業部なら化学も生かせると思いました」。

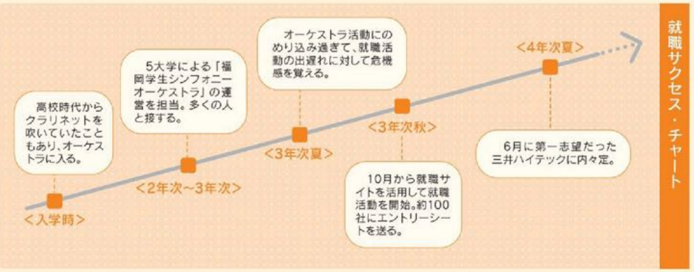
就職活動で心掛けたのは、「自分から人事担当者に積極的に話し掛けること」です。「こちらからアプローチすることで、人事担当者が学生のどういうところを見ているのかということまで話してくれました」とのこと。

「もう一つ、受け身で説明会に参加するのはやめようと思いました。採用される側であっても、自分をしっかり表現することで〝その人らしさ〟が自然と際立ってくると思います」。

私の所属するエッチング事業部では、入社して3年間は研修期間に充てられ、今年がその最終年。「苦しいこともありますが、同じ研修を続けてこられた先輩方を含め、周りの人に助けられています」と、オーケストラ活動で培ったコミュニケーション力を生かしながら、日々奮闘中の篠田さん。いよいよ来年〝本当の実践社会〟に羽ばたきます。

就活アドバイス
大学時代だからといって無駄にしていい時間はない

大学での4年間、あるいは6年間は本当に長い時間だと思います。でも、無駄にしていい時間はありません。一生懸命に打ち込めるものを早く見つけて、それをやり続ける熱意が就職活動では一番の武器になると思います。



SUCCESS 2

自分の力を過信することなく、場数を踏んで経験を積むことが大切。

株式会社筑邦銀行

経済学部経済学科
2009年卒業

堤 康博さん

面接に待っていた意外な落とし穴

堤さんは、在学中に準硬式野球部に所属し、2年次のときには全国準優勝という華々しい成績を残したスポーツマン。4年次の夏に引退するまで部活動を続け、就職活動を開始したのは、3年次の冬からとのこと。

「業種は絞らず、漠然と大きな企業に入りたいという希望がありました。就職・進路支援センターをよく利用し、センターの方々にエントリーシートの添削をしていただきながら、約30社にエントリーシートを提出しました」。

準硬式野球部のOBにも相談するなど、「部活動で出会った人とのつながりは就職活動でもプラスになりました」と語ります。面接でも、部活動で養った自主性や忍耐力をアピールし続けたそうです。

しかし、自分が得意だと思っていた面接で意外な落とし穴が待っていました。

「ある企業の面接で失敗してしまいました。同じ質問を何度もされて、冷静さを失い、頭の中が真っ白な状態になってしまいました。今考えれば、こちらの本音を聞き出す意図があったのだと思います。初対面の人と話すのが得意だっただけに、余計にショックが大きかったです」。

得意なことだからと決して過信しないこと

堤さんは、これから就職活動を始める学生の皆さんに、自分が経験した失敗を繰り返してほしくないと、次のようなアドバイスをします。

「就職活動で、自分の力を過信することは絶対に良い結果につながりません。過信している人ほど、一度冷静さを失うと、どんどん悪い方向に流れていきます。得意なことだからと力を過信することはしないでください。面接では誰もが緊張しますが、その緊張感をプラスに変えていくくらいの冷静さをもつこと。それには、やはり何度も経験することだと思います」。

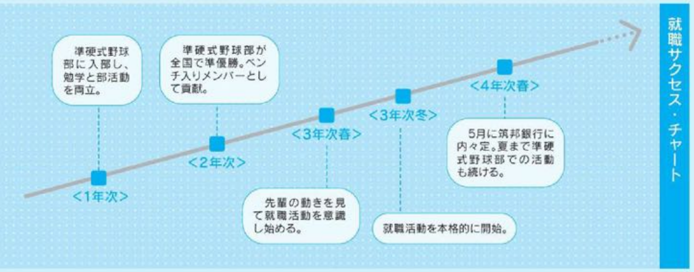
堤さんは現在、筑邦銀行八女支店で渉外業務を主に担当しています。就職活動での失敗はありましたが、持ち前のコミュニケーション力やスポーツマンらしい礼儀正しさなどを発揮して、個人事業主や預金先と良好なお付き合いをしているようです。

「毎日勉強することばかりです。地方銀行ならではの一人一人に対する心配りを忘れることなく、地域に貢献できるようにこれからも頑張っていきます」。

最後に堤さんは、地場に深く根を降ろす銀行マンとして、頼もしいひと言で締めてくれました。その言葉からは、もはや自分の能力を過信するような気持ちは微塵(みじん)も感じられません。

就活アドバイス
模擬面接を積極的に受けよう

自分は面接が得意だと思っている人も、就職・進路支援センターで体験できる模擬面接を積極的に受けて、できるだけ多くの場数を踏むことをお勧めします。面接を担当する企業の方にも、さまざまなタイプの人がいるということも認識してほしいと思います。



就職・進路支援センターからのお知らせ

主に、3年次生・大学院1年次生の皆さんへの就職ガイダンスを案内します。

【進路説明会】
4月20日(水)~4月27日(水)
自分自身のキャリア(将来)について考えるためのガイダンスです。

【就職活動準備スタートアップガイダンス】
5月25日(水)~6月1日(水)
本格的に就職活動を始める前に今後の自分のキャリアを見据えた仕事・企業選びをする必要性について解説します。

【業界・仕事研究ガイダンス】
9月28日(水)~10月5日(水)
知っている業界や企業に偏るのではなく、さまざまな業界を見て自分が働きたい企業を探すことの重要性を理解してもらいます。

【面接ガイダンス】
11月16日(水)~11月18日(金)
公開模擬面接を行い、面接のポイントについて解説します。

上記ガイダンスの他にも、就職・進路支援センターでは、多種多様な支援行事を随時開催しますので、積極的に参加してください。支援行事の日程や詳細については、FUポータルや掲示、ウェブサイトでその都度案内します。

また、就職・進路支援センターでは、専任のスタッフをはじめキャリアカウンセラー、進路相談員(就職アドバイザー)が就職・進路に関する相談に応じています。気軽に相談してください。

支援行事

就職・進路支援センターでは、就職や進路支援について、3年次生・大学院1年次生だけでなく、各年次対象の行事も開催しています。

教育 クローズアップ

共通教育科目外国語科目

フレッシュマン・イングリッシュ I〜Ⅳ

グローバル化がますます進む日本において、大学生として必要な英語力を習得する。

生きた英語をネーティブ教員から学ぶ学習を含め、基礎的英語力を徹底的に身に付けるカリキュラム。

100%ネーティブによるインタラクティブ授業

日本国内でも社内の公用語を英語とする企業が増え、社会のグローバル化はますます進んでいます。しかし、日本人の英語力は、そのスピードに追い付いていないのが現実で、大学生の英語力も例外ではありません。そのような背景を踏まえて、本学では平成21年度から共通教育科目「フレッシュマン・イングリッシュ」をリニューアル（再編）しました。この授業は、3種類のクラスで構成されており、すべてのクラスを1年間で受けられるようになっています。（次ページの表を参照）

言語教育研究センター長の大津敦史教授は、この再編の経緯についてこう説明します。

「ゆとり教育の影響もあると思いますが、最近の学生は高校時代からすでに基礎的な英語力が落ちてしまっています。それに対応するため、入学前後に導入教育を実施している大学もあります。本学の場合は、言語教育研究センターが中心になって、英語科目のカリキュラムの改革を実施してきました。教える側にも学ぶ側にも分かりやすい内容にすること、授業の目的を明確にすることを狙いとして、平成14年度から4種類のクラスから一つを選んで受ける『目的別クラス選択・制』を始めました。例えば、スピーキング力を身に付けたい、文法をしっかり学びたいなど、それぞれの学生が望む授業内容を1年次から提供するようにしました。しかし、※プレイスメントテストの結果を見ると、リスニング力は向上したものの、基礎的な文法力とリーディング力が伸びていないということが分かりました。これでは3年次以降に専門分野の英語論文を読んだり書いたりすることができません。そこで、1年次から好きな内容を選ぶのではなく、最低限必要な英語学習を実施した方が効果的ではないかということで、平成21年度から、『フレッシュマン・イングリッシュ』について全員が3種類の目的別クラスを受けるように再編しました。どの学部・学科の学生であっても、最低限これだけは身に付けてほしいという思いが込められた授業になっています」。

大津 敦史 教授

1年間で3種類のクラスをすべて受けられますが、その中でもインタラクティブ英語（IA）の充実度は特筆すべき内容だと言います。

「これだけ大きな総合大学で、25人という少人数制クラスをつくること自体大変ですが、なおかつ100%ネーティブ教員が教えているのは、学生数が2万人を超えるような他大学では考えられないことです。1年次から、ネーティブ教員による生の英語をしっかり学べるというのは、実はすごいことなんですよ」。

実際に、本学では出身国がアメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリアなど、30人を超えるネーティブ教員が担当していて、それぞれの国の文化の話も交えながら、ユニークな英語の授業を行っています。

検定対策英語（ESP）の授業風景。

言語教育研究センターのウェブサイトから、多彩なe-learning（オンライン学習）プログラムで学習することができます。
http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu827/home1/

英語力を向上させる機会が授業以外にもたくさんある

言語教育研究センターでは、授業以外にもさまざまな英語力・外国語力を向上させるプログラムを提供しています。その一つが、ウェブサイトによるe-ラーニング（オンライン学習）。本学の学生であれば、学籍番号とパスワードを入力して利用することができます。

平成23年度には、TOEICを受験して550点をクリアした人を対象に、各学部のスコア上位者を選抜してハワイ大学語学研修プログラムに派遣します。11月には学内イングリッシュ・スピーチ・コンテストを実施して、その優勝者もハワイ大学語学研修プログラムに派遣。どちらも研修期間は3週間で、費用は大学が負担します。

また、今春には文系センター棟1階の「プラザ50」の一角を利用して、イングリッシュ・プラザを開設。月曜日から金曜日の12時半から14時半の2時間、ネーティブ教員と英会話を楽しめるというプログラムです。「これらは『フレッシュマン・イングリッシュ』をはじめとする外国語科目を補完するプログラムでもあります。このプログラムを活用して、楽しみながら社会で通用する英語力を身に付けてほしいと思います」。

※プレイスメントテスト…1年次と2年次の後期に実施される英語力測定テストです。1年次のテストの結果と本人の希望により、2年次のクラス編成を行っています。

【フレッシュマン・イングリッシュ】

■ Ⅰ・Ⅱ（前期・後期）
- リーディング&リスニング（R&L）
  英語の4技能（読む、書く、聞く、話す）のうち、英文を読む、聞くといった基礎的英語能力を養成します。

■ Ⅲ・Ⅳ（前後期入れ替え）
- 検定対策英語（ESP）
  TOEIC、TOEFLなどの英語資格検定試験の受験を目標に、より実践的なトレーニングを行います。
- インタラクティブ英語（IA）
  単なる英会話レベルを超えて、ネーティブ教員の指導を通じてより実践的なコミュニケーション力を養成します。

参加者の声

森 愛子さん
（人文学部文化学科）

卒業までに完璧に英語を話せるようになりたい

英語圏ではなかったのですが、小・中学生の時に外国でホームステイした経験があるので、語学力の大切さを実感しています。英語を完璧に話せるようになって卒業したいという目標があり、ネーティブの先生から直接学ぶことができるのはとても良い刺激になります。

卒業後はマスコミ関係に進みたいのですが、どのような職に就いても必ず英語は必要になってくると思っています。せっかく大学のカリキュラムに英語が入っているので、「利用しない手はない」と考えて、楽しんで授業に出ています。

授業を行っているのは、アメリカ・シカゴ出身のベヴァン、グレッグ准教授。明るくユーモラスな先生の人柄で、授業中は英語での会話が弾みます。生きた英語そのものを学べるところが魅力です。

松雪 亮太さん
（法学部経営法学科）

TOEICで600点取ることを目標に

TOEICはリスニング、文法、リーディングなど広範囲に問われる内容なので、毎回の授業がダイレクトに生かされてとても勉強になります。TOEICは高校の時に受けたことがありますが、400点も取れませんでした。今は600点を目標に授業に臨んでいます。

先生や同じクラスの人と常にコミュニケーションを取れるように授業が進められますし、リスニングも文法もテキストで反復して学べるので、着実に英語力が身に付いている気がしています。消防士になるのが目標ですが、その試験科目には英語もあるので、大学での授業を通じて英語力を高めたいと思います。

この日の授業では、教材の英語音声を聴き取って、受験する学生が必要個所の単語を板書していく形態が取られました。

vol.1

カラダのカガク

健康を科学的に考える。

医学部 **西村 良二** 教授

学生の心や睡眠に関する悩みの解決のために、精神神経科学を専門に研究。臨床では、精神科臨床実習におけるプログラムにデイ・ケア実習を取り入れています。

睡眠を考える［前編］

世間の健康ブームとは裏腹に、若者に成人病予備軍が増えるなど、
若年層の健康バランスが崩れかけています。
大学生活を、より健やかに過ごすために、
普段の生活に直結する「カラダのカガク」をお届けします。
今号と次号では、睡眠について考えてみましょう。

体内時計のリズム —起きる時間を一定にしよう—

睡眠は、人間にとって必要不可欠なものです。長時間にわたり睡眠を取らずにいると、集中力や判断力の低下はもちろん、ひどいときには被害妄想や幻覚を見るといった症状が出ることがあります。

では、人にとって最適な睡眠時間はどれくらいでしょう。もちろん個人差はありますが、一般的には7〜8時間だといわれています。しかし、同じ8時間の睡眠でも、夜10時に寝て朝6時に起きるのと、明け方4時に寝て正午に起きるのとでは、大きな違いがあります。後者では、体内時計のリズムが狂ってしまうのです。

人は基本的に昼行性なので、脳と身体は、日中に活動して夜間に睡眠を取るような仕組みになっています。朝起きて、太陽の光を浴びることによって、脳内の内分泌器である松果体に信号が送られ、松果体はメラトニンという、生体リズムを調節する天然の化合物を作り始めます。そして、14時間後にメラトニンを分泌させ、それが2時間かけて血中に行き渡ると眠くなるのです。それが、睡眠と覚醒に関する体内時計のリズムです。

正午に起きれば、それだけメラトニンの分泌が遅くなり、眠くなるのは16時間後の明け方4時頃。このような状態では、午前中の授業をしっかり受けられなかったり、大切な定期試験や入社試験に遅刻するなど失敗を繰り返すことになります。

優先すべきことは、睡眠時間の確保よりも、起きる時間を一定にすることです。毎朝7時に起きると決めたら、前日にどれだけ就寝が遅くなったとしても、朝7時に起きて朝日を浴びましょう。それによって、体内時計のリズムが保たれ、多少の睡眠不足は2日ほどで自然に解消します。

ノンレム睡眠とレム睡眠 —質の高い睡眠を取ろう—

人間の睡眠には、ノンレム睡眠とレム睡眠という二つの状態があり、睡眠中はそれぞれを周期的に繰り返します。

ノンレム睡眠は、安らかな深い眠りで、脳波の状態では四段階に分かれます。眠りにつくと、最初はノンレム睡眠の第一段階から始まり、第四段階で最も深い眠りになります。この状態に達するのが、眠り始めて約90分後。第三、第四段階の睡眠をいかに取れるかが、良い睡眠、質の高い睡眠のポイントとなります。質の高い睡眠は、一日を効率良く活動できる力と気持ちにつながります。就寝する30分前から身体を休め、自分の好きな音楽を聴いたり、温かい飲み物を飲んだりして、身体をリラックスした状態にして、〝質の高い睡眠への準備〟を心掛けると良いでしょう。

一方のレム睡眠は、筋肉がほとんど動かないのに、脳が目覚めている状態です。人が夢を見るのはレム睡眠時で、よく「金縛りにあう」といわれるのもこの状態にあるときです。レム睡眠は、深い眠り（ノンレム睡眠）と目覚めをつなぐ重要な役割を果たしています。

最近は、昼寝を取り入れる学校や企業が増えてきました。昼寝をすることで、午後からの授業や仕事が効率的になるといわれています。皆さんも午後からの授業を受けるときに、一度試してみてください。ただし、20分以上の昼寝は夜の睡眠のリズムに響くので注意しましょう。

■

「春眠暁を覚えず、処処に啼鳥を聞く」という漢詩があります。春は寝心地が良く、ついつい朝寝坊しがちになりますが、ぜひ睡眠のリズムには気を付けましょう。

次号では、若者にも多い「睡眠障害」についてお話しします。

ワンポイントアドバイス

夜のコンビニ、長居は禁物

一般的に、朝の光の明るさを照度の単位で表すと、曇った日の窓際で約3千ルクス程度。視神経がその明るさを一定時間感じることによって、松果体はメラトニンを産生し始めます。

夜間でも、朝の光に近い明るさを出しているのがコンビニエンスストア。その明るさは約2千ルクスです。立ち読みなどをしながら、夜間のコンビニエンスストアに長時間滞在していると、メラトニンの産生を促すことになり、16時間後には眠くなる可能性があります。夜間のアルバイトなど、特別な理由がない限りは、長時間滞在しないことをお勧めします。

睡眠・覚醒のリズム

ノンレム睡眠とレム睡眠はある一定のリズムで交互に繰り返されます。

絆 エッセイ

留学生や日本人学生といった枠にとらわれないボーダレスな環境づくりを目指して。

国際センター事務室
真名子 早苗さん

国際センター事務室に配属され早4年。主に交換留学生の受け入れを担当しています。福岡大学では毎年約20人の交換留学生を受け入れています。あいさつ程度の日本語しか話せない学生もいれば、流暢な日本語を話す学生もいますが、どの学生も来日した当初は、緊張と不安でいっぱいの顔をしています。

私も大学時代、ニュージーランドに留学し、異国で生活することの大変さを体験しているので、留学生の気持ちは痛いほどよく分かります。留学生には基本的に日本語で話し掛けますが、なるべく分かりやすい日本語で丁寧に話すよう心掛けています。

先日も留学生に「成績はいつ分かりますか？」と聞かれたので「2月の下旬には分かりますよ」と答えると、怪訝そうな顔で「〝げじゅん〟って何ですか？」とひと言。「2月の終わり頃の事です」と教えると、理解してくれました。ちょっとした言葉の選び方にも気を遣う毎日です。

来日してから数カ月がたつと、留学生は日本人と同じようなあいさつの仕方が身に付き、生き生きとした表情を見せてくれます。その様子を見ると、とてもうれしい気持ちになります。

慣れない日本での生活で、留学生にとって何より心強い存在は、やはり一番身近で気心が知れた本学の学生です。もし同じ講義を受講していたり、学食や図書館で留学生を見掛けたりしたら、ぜひ話し掛けてください。

今後、本学でも留学生の数は増えていくと思います。私自身、留学生をサポートする一人として、留学生を特別扱いするのではなく、最終的には「留学生」や「日本人学生」といった枠にとらわれない、ボーダレスな環境づくりを目指したいと思っています。

交換留学生と一緒に。「せっかく日本に来たのだから、日本人とたくさん交流して、いろいろなことを吸収してもらいたい」と常に留学生のことを気に掛ける真名子さん。

来てみて 話して こころの整理

ヒューマンディベロップメントセンター（HDセンター：学生相談室）のご案内

ヒューマンディベロップメントセンターでは、カウンセラーが皆さんからの相談を受け付けています。

例えば･･･
- 大学になじめない、親しい友達ができない
- 授業に興味が持てない、授業についていけるか不安
- 何となくだるい、よく眠れない、将来のことについて迷っているなど、どんな相談でも結構です。

一人で悩まずに、一度来てみませんか？

相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。

相談時間

月・水・金 9:30〜16:00
火・木 9:30〜18:40

場所

学生部事務室棟3階

本学学生のことであれば、ご家族・教職員の皆さまからのご相談もお受けしています。

休憩できる「フリースペース」もあります。

グループ・セミナーのお知らせ

新入生の皆さんや、「HDセンターに興味があるけれど、まだ行ったことがない」という皆さん、この機会に一度見に来てみませんか？お茶を飲みながら、一緒に時間を過ごしましょう。学年を問わず誰でも参加できます。

ランチタイムをご一緒に
HDセンターで一緒にランチタイムを過ごしてみませんか？
毎週月曜日 12:00〜13:00（担当カウンセラー：屋宮 公子）

社会で役立つ対人関係スキルグループ
授業やサークル、アルバイト、面接などの社会的場面が苦手な方にお勧めです。
毎週木曜日 16:20〜17:20（担当カウンセラー：屋宮 公子）

はじめの一歩
初対面の人と楽しく過ごす時間です。新入生や初対面の人との会話が苦手な方にお勧めです。
4/14(木)、21(木)、28(木) 16:20〜17:20

相談・グループセミナー 無料（相談は予約制）

ご予約 お問い合わせ 092-871-6631（内線2630）
※電話は16時30分までにお願いします

ホームページ
http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm
もご覧ください。

「福岡大学技術交流会2011」を開催

3月10日(木)、ホテルニューオータニ博多で「福岡大学技術交流会2011」を開催しました。本学の産学官連携センターが主催するこの会は、今年が12回目。福岡・九州の経済界や企業の方をお招きして、本学のさまざまな研究内容・成果をお伝えすることで、産学官連携の強化を図ることを目的としています。

今回は「地域活性化と大学の役割～産学官連携のコンセプトを探る～」をテーマに掲げ、基調講演や研究シーズの発表、懇親交流会という多彩なプログラムで進行。

基調講演をしていただいたのは、東京理科大学特命教授の塚本修氏と九州経済産業局長の滝本徹氏。その後、本学の3人の教授が研究シーズの発表を行いました。

発表したのは、医学部の宮本新吾教授による「がん標的治療薬の開発～HB-EGFを標的とした卵巣癌治療薬の開発を目指して～」、スポーツ科学部の田中宏暁教授による「健康増進、介護予防のためのシステム開発」、工学部の友景肇教授による「先端半導体デバイスの実装評価技術の開発」の三題。ご参加いただいた関係者の皆さんは、総合大学ならではの本学関係者の多岐にわたる発表に、大きな関心を寄せていました。

多彩な方面からの参加者が集まりました。

懇親会会場での研究シーズポスターの展示。

平成23年度「福岡大学 魅力ある学士課程教育支援」採択結果

平成22年11月2日(火)に開催した平成23年度「福岡大学 魅力ある学士課程教育支援」の採択に係わる審査会において、次の12件の取り組みを採択しました。

≪重点教育支援≫

	取組名称	取組主体
	テーマa:総合大学としての多様な初年次教育の展開	
1	理工系学生の基礎力パワーアッププログラム	理学部
2	「命の大切さを実践する」学士課程の創設	医学部
3	健康・体力づくりのための運動プログラムサービス事業 ー人も大学も地域も元気で クリーン グリーン にー	スポーツ科学部
4	汎用的能力を修得するための初年次教育 ー多様な学生に対応した学士力を担保するための教育支援ー	エクステンションセンター
	テーマb:教養教育を起点とする学士力の保証	
1	実践的教養教育の構築 ーアカデミックスキルズを涵養するー	共通教育センター
2	英語学習への動機付けと英語コミュニケーション能力の向上を目指す実験的試み ー英語力を身につけてハワイ大学語学研修に参加しよう！ー	言語教育研究センター

≪萌芽的なすぐれた教育改善への取り組み支援≫

	取組名称	取組主体
1	課外教育による総合的学士力の養成 ー学内外行事参加と専門知識の充実による社会での応用力の涵養ー	人文学部 東アジア地域言語学科
2	体験学習を活用した初年次教育の実践 ー教育環境の変化に対応した新たな初年次教育プログラムの開発に向けてー	人文学部 歴史学科
3	蔚山大学校との交流ゼミナール ー異文化コミュニケーション能力の育成と教職員連携の強化を目指すー	商学部・商学部第二部
4	科学的国際交流による表現力の継続的実践教育	理学部 物理科学科・化学科
5	質の高い薬剤師養成に向けた学士課程教育支援	薬学部
6	体育・スポーツのエキスパート育成プログラム	スポーツ科学部

清華大学教授に客員教授称号記を授与

福岡大学は、中国・清華大学の王偉(ワンウェイ)教授に対し、本学客員教授の称号記を授与しました。

本学の環境保全センターは、工学研究科環境生態制御専修の研究スタッフとともに、清華大学と環境分野における連携を確立しています。王偉教授は、清華大学で廃棄物資源化エネルギー研究センター長を務めており、中国廃棄物分野を代表する研究者で、本学が開発した福岡方式(準好気性埋立)を広く中国に普及する面で多大な功労を挙げられました。また、本学との環境分野における学術交流の推進や本学大学院生の指導にも大きく貢献されました。

客員教授の称号記を授与された王偉教授(左)と大和副学長。

[特別コラム] 薬物乱用の怖さを知ってほしい

薬学部教授 藤原 道弘

● 薬物について正しい知識を身に付けよう

ドラッグ(乱用薬物)は、心に害を与えるもので、シンナー、大麻(マリファナ)、ヘロイン、コカイン、睡眠導入薬などがあります。特にここ数年は、大麻や覚せい剤などによるドラッグ汚染が芸能人、スポーツ選手、主婦、大学生、さらには中高生などの若年層にまで広がりを見せており、社会的に深刻化しています。

若者が大麻に手を出すケースは、「タバコや酒より害が少ない」「最高の気分が味わえる」「イライラがとれてスッキリする」「一度だけなら大丈夫」といった間違った知識や罪悪感の薄さからくるものがほとんどです。「興味感覚」や「ファッション感覚」で使用することが原因となっています。皆さんは、薬害に対しての知識を深め、大麻や覚醒剤を中心に薬物乱用、薬物依存症とは何か、ドラッグが心身に及ぼす影響について正確に知っておくことが大切です。

●「一度くらいなら…」それが転落への第一歩

ネズミを用いて大麻が及ぼす影響についての実験結果があります。大麻を与え続けた結果、仲間同士が咬み合うなどの凶暴性が現れました。「単独隔離」という環境ストレスを与えると、凶暴性はさらに激しくなります。大麻は、ヒトでも動物でも共通した脳部位に作用します。ヒトが大麻を常用すると、情動の調節の欠如によって、突発的に笑ったり、泣いたり、暴力をふるったりするのです。また、思考過程や記憶にも障害が起き、無気力になります。

「常用しなければよい。一度くらいなら…」。そのような気持ちで大麻に手を出すのが、転落への第一歩となります。心地良さを得た者は記憶として残るので、やがて使用を繰り返すという薬物依存症になり、ついには正常な復帰が難しくなります。

「絶対に使用しない」その強い意思が必要で、それは人間力の練磨によって得られていきます。それが皆さん自身をドラッグから守る唯一の手段なのです。

第2回「話してみよう韓国語」福岡大会で本学の2人が最優秀賞を受賞

平成22年12月18日(土)、九州産業大学で第2回「話してみよう韓国語」福岡大会が開催されました。この大会は、2人1組で韓国語による会話をするスピーチコンテストで、韓国語だけでなく、表現力や韓国文化を深く理解していることも評価の大きなポイントとなります。

今回の大会では、本学の学生が創作スキット部門で最優秀賞(1位)と優秀賞(2位)、指定スキット部門で奨励賞(3位)を受賞しました。

より難易度の高い創作スキット部門で最優秀賞を獲得したのは、人文学部教育・臨床心理学科3年次生の岩坪誠士さんと人文学部東アジア地域言語学科3年次生の近藤奈央さんのペア。近藤さんは、第1回大会の指定スキット部門でも最優秀賞を獲得しており、2年連続の最優秀賞受賞となりました。

また、同部門の優秀賞には、人文学部歴史学科4年次生の山田哲矢さんと商学部商学科4年次生の梶原麻美さんのペアが、指定スキット部門の奨励賞には、商学部商学科4年次生の宮本彩加さんと人文学部東アジア地域言語学科の立石健太さんのペアが輝きました。

西部地区五大学連携講演会で長谷川法世さんが講演

博多を舞台にしたマンガ「博多っ子純情」の作者として知られる長谷川法世さんが、3月9日(水)に本学17号館で開催した「西部地区五大学連携講演会」で講演を行いました。

この講演会は、西部地区五大学連携事業の一つで、当日は「福岡市の都市力アップに向けて」をテーマに講演が行われました。

長谷川さんの演題は「博多の魅力ー中世のなごりー」。長谷川さんならではの“博多愛”を、ユーモアを交えて語っていただきました。

テレビのコメンテーターとしても活躍する長谷川法世さん。

第6回3大学合同シンポジウムを開催

本学は、福岡歯科大学、中村学園大学とともに、地下鉄七隈線沿線3大学の連携を図り、地域の健康づくりに貢献する活動を行っています。その活動の一環として、1月22日(土)、福岡大学病院福大メディカルホールで「第6回3大学合同シンポジウム」を開催しました。

今回は「メタボ・糖尿病の克服に向けて～口腔・栄養・代謝から見た管理・治療戦略～」をテーマに、3大学の講師がそれぞれにテーマに沿った講演を行いました。本学からは医学部の柳瀬敏彦教授が「メタボ・糖尿病診療の新しい動向」という演題で講演。講演後には、来場者と講師との積極的な質疑が行われました。

今年1月に開院した福岡大学病院新診療棟に設置されている「福大メディカルホール」で開催。

名誉教授・定年退職者一覧

長い間お疲れさまでした。そして本当にありがとうございました。

福岡大学を愛し、学生を慈しみ、そして教育研究・医療そして大学運営にご尽力いただいた方々がその任を全うして定年を迎えられました。また、4月7日(木)、長年にわたる功績を称え、16人の先生に名誉教授の称号が授与されました。

福岡大学名誉教授

人文学部	法学部	経済学部	商学部	理学部	工学部	医学部
片多 順 古川 智次 三嶋 譲 道行 啓爾	新関 輝夫 立木 謙介	林 基 松原 建彦	A.M.エルアグラ 古賀 勉	宮本 康彦	岡藤 智史 田中 隆一	岡崎 正敏 影浦 光義 桂木 猛

定年退職者 (※選択定年者を含む)

[教育職員]

教授	片多 順	人文学部
〃	古川 智次	〃
〃	三嶋 譲	〃
〃	道行 啓爾	〃
〃	新関 輝夫	法学部
〃	立木 謙介	〃
〃	林 基	経済学部
〃	松原 建彦	〃
〃	A.M.エルアグラ	商学部
〃	古賀 勉	〃
〃	宮本 康彦	理学部
〃	岡藤 智史	工学部
〃	田中 隆一	〃
〃	岡崎 正敏	医学部
〃	影浦 光義	〃
〃	桂木 猛	〃
〃	尾首 睦美	医学部「看護学科」
〃	黒岩 中	〃
〃	寺﨑 明美	〃
准教授	池田 有二	経済学部
〃	井手口 裕	福岡大学病院
講師	川浪 祥子	〃
※講師	村田 敏晃	医学部
〃	濱田 浩	薬学部

※「福岡大学教育職員資格審査基準」第4条第7号適用

助教	西村 秀紀	理学部
〃	飯田 利彦	工学部
〃	山﨑 繁通	福岡大学病院
助手	岩河 信裕	工学部
〃	江口 一夫	〃
〃	添田 朋子	〃
〃	吉田 良三	〃

[事務職員]

参事	吉村 眞澄	企画課
〃	古屋 寛道	人事課
〃	古賀 茂一	理学部事務室
〃	持山 敏雄	工学部事務室
〃	金子 忠実	学術情報課
〃	徳川 章	研究推進部
〃	吉松 年昭	就職・進路支援センター事務室
〃	井上 浩二	健康管理センター事務室
〃	松原 治郎	福岡大学病院 医事課
〃	松田 司	管理課
〃	添田 泰臣	内部監査室

[教育技術職員]

技師	香川 昌純	工学部

[医療技術職員]

技師	江尻 孝一	福岡大学病院 放射線部
〃	王丸 明子	〃
〃	東島 明子	福岡大学病院 看護部

[看護職員]

看護師長	中田 久美子	福岡大学病院 看護部

[教育職員]

教諭	松岡 繁雄	附属大濠高等学校

平成23年3月31日付
敬称略

福岡大学への寄付者芳名一覧

本学に対し多大なるご寄付を賜り、深く感謝いたします。
ここに、平成22年7月1日から12月31日の間にご寄付いただいた方々の芳名を掲載させていただきます。

■6,500,000円
福岡大学同窓会 社団法人有信会 様
■2,000,000円
大同生命保険株式会社 様
■2,000,000円
医療法人かぶとやま会 久留米リハビリテーション病院 様
■525,000円
コクヨマーケティング株式会社 様
■100,000円
岩田産業株式會社 代表取締役社長兼会長　岩田 陽男 様
■100,000円
株式会社 サンコンタクトレンズ 代表取締役　大橋 敏夫 様
■30,000円
天野 修造 様
■絵画「エスカミロ」
末永 直行 様
■実証研究用 浸出水処理施設建屋、水処理装置 他 3件
株式会社 横河ブリッジ 様
■扁額「福岡大学校歌」
福岡大学書道部、福岡大学書道部書心会 様
■ヨット(スナイプ級)
七洋会(ヨット部OB会)会長　津田 和雄 様
■血管内超音波画像診断装置 一式、手術画像支援システム 一式
脳神経外科学 様

サッカー部が小学校の体育授業をサポート

2月2日(水)から5日間にわたって、福岡大学サッカー部(男子・女子)が、那珂小学校で体育授業のサポートを担当しました。毎回10人ほどの部員が参加し、体育授業だけでなく、給食や掃除も小学生たちと一緒に体験する今回の指導は、「ミニ教育実習」といえるでしょう。

サッカー部監督の乾真寛教授は、「サッカー部には、将来指導者を目指す部員がたくさんいます。そういう学生にとって今回の授業は貴重な機会となりますし、実際に参加した学生は人間的にも成長しています。小学生にとっても実際の先生方とは違う親近感を感じてくれているようで、授業をとても楽しそうに受けていました」と語ります。

山田和博さん(スポーツ科学部4年次生)は、昨年このサポートに参加したことをきっかけに、小学校の教員になることを決意。「中学・高校以上に、いろいろな感情を表現する子どもたちの指導ができるのが、小学校教員の魅力だと思います。たくさんの小学生と接することで、スポーツが苦手な子どもたちの気持ちも知ることができました」と語る山田さん。

山田さんが自分の将来を決意したように、多くの小学生と接する時間は、乾教授が語るとおり「学生が成長できる貴重な機会」なのです。

この指導をきっかけに小学校教員を目指すことを決めた山田さん。

サッカーと遊びの要素を交えた、バラエティーに富んだ授業を行いました。

各方面で顕著な功績を挙げた学生を表彰
ー課外活動成績優秀者、学生部長賞ー

平成23年2月21日(月)、60周年記念館ヘリオスホールで「学友会課外活動成績優秀者表彰式」および「学生部長賞表彰式」を行いました。

「学友会課外活動成績優秀者表彰」は、課外活動を通じて優秀な成績を収めた学生を半期ごとに表彰するもので、今回の表彰者は3団体ならびに個人10人。

また、「正課・正課外を問わず学内外での各種社会活動や学生生活支援等において、特に顕著な功績を残したと認められる学生」に対し「学生部長賞」を今回創設し、井上和哉さん(理学部4年次生)が第一号として表彰されました。

■成績優秀個人表彰

学友会名	氏名(表彰時の学部および年次)	大会・種目名および種目	結果
サッカー部	永井 謙佑さん (スポーツ科学部 4 年次生)	第 16 回アジア競技大会 サッカー競技	優勝 (得点王)
陸上競技部	田中 千智さん (スポーツ科学部 4 年次生)	第 16 回アジア競技大会 陸上競技 女子 4×400m	4 位
柔道部	七戸 龍さん (スポーツ科学部 4 年次生)	第 29 回全日本学生柔道体重別選手権大会 男子 100kg 超級	優勝
	石本 智子さん (スポーツ科学部 3 年次生)	第 29 回全日本学生柔道体重別選手権大会 女子 78kg 級	3 位
卓球部	浜口 元樹さん (スポーツ科学部 1 年次生) 吉開 貴昭さん (商学部 1 年次生)	第 77 回全日本大学総合卓球選手権大会 個人の部 男子ダブルス	3 位
少林寺拳法部	上嶋 悠さん (経済学部 1 年次生) 前田 慎平さん (工学部 1 年次生)	第 44 回少林寺拳法全日本学生大会 男女段外組演武の部	3 位
武道空手愛好会	筧 香歩理さん (人文学部 4 年次生)	第 10 回桜花女子大会	総合優勝
	浜田 暖子さん (人文学部 4 年次生)	第 10 回桜花女子大会	総合準優勝

■成績優秀団体表彰

学友会名	大会・種目名および種目	結果
学生保険部会	第 46 回献血運動推進全国大会	厚生労働大臣賞 (献血者数日本一)
放送研究部	第 27 回 NHK 全国大学放送コンテスト 映像 CM の部	1 位
武道空手愛好会	第 4 回日本武道空手大学選手権大会	3 位

■学生部長賞表彰

氏名(表彰時の学部および年次)	内容
井上 和哉さん (理学部 4 年次生)	FU ナビ 2011 (キャンパスライフを快適にする Android アプリケーション)

小野寺学生部長より表彰を受ける受賞者。

「学生部長賞」を受賞した井上さんによる「FU ナビ2011」のプレゼンテーション。

(平成22年10月から平成23年3月)

ARCHIVE
—甦る記憶—

この学び舎には、歴史があり、伝統がある。
この一枚は、今のあなたにとって単なる「昔の写真」でも、
いつか、あなたの「誇り」となるだろう。

荘厳な雰囲気の中で挙行された第１回入学式（奥に左向きに座しているのが新入生）

【入学式と創立記念日】

福岡大学の歴史は昭和9年の福岡高等商業学校の設立に始まります。昭和2年、福岡市会に市立高等商業学校設立の議案が出されました。しかし当時の日本は、第一次大戦後の昭和金融恐慌の中で国全体が非常に貧しい状況でした。当然福岡市も学校を造る予算が無かったこと、加えて東洋の大貿易港として博多港湾開発問題が浮上していたことで、この話は立ち消えてしまいます。しかし時を同じくして、日本にはアジア大陸での商業経営の専門家育成が急務であると確信していた溝口梅太郎（本館前の胸像）という人物がいました。溝口は勤めていた西南学院大学教授職を辞し、大陸に近い福岡市に高等商業学校を設立することが喫緊の課題であると奔走しました。この思いが実ったのが昭和9年。溝口を含む8人が共同設立者として私立福岡高等商業学校が設立されました。文部省の認可が遅れたため、同年5月10日、第1回の入学試験が行われ、志願者1,222人で入学者は184人。中学修猷館、福岡中学校、中学明善校をはじめ名門校からの入学者が多くいました。そして記念すべき第1回入学式が福岡県教育会館（現在の天神）で行われたのが、同年5月21日。翌10年、この日を開校記念日と制定しています。「教務日誌」（昭和10年）によれば、「5月21日（火）快晴、開校記念式。午前10時より生徒入場、職員入場、学校長入場。国歌斉唱、勅語奉読、学校長式辞（中略）終わって昼食の接待を受け和気藹々裡に散会す」。以後、この第1回入学式挙行日の5月21日を福岡大学の創立記念日としています。

EVENT SCHEDULE

4月
- 学年開始（1日）
- 入学式（1日）
- 1年次生履修登録ガイダンス（2日）
- 1年次生学部指導懇談会（2日、6日〜8日）
- 1年次生履修登録（3日〜5日）
- クラブ勧誘週間（4日〜15日）
- 留学フェア（7日）
- 第二部新入生歓迎レセプション（8日）
- 前期授業開始（9日）
- 第二部クラブ勧誘週間（9日〜16日）
- 海外研修生募集（韓国）および
  海外夏期英語研修生募集（英国）（11日〜21日）
- 定期健康診断（11日〜6月17日）
- 第二部学生健康診断（13日〜15日）
- 新入生歓迎ピクニック（17日）
- 第二部春季レクリエーション（24日）
- 昭和の日（29日）※授業日
- 交通安全セミナー（30日）

5月
- 九州六大学野球春季リーグ戦
  対西南学院大学<福西戦>応援合戦（5月15日）
- 創立記念日（21日）※授業日
- 野外教育キャンプ（1泊2日）（5月下旬）
- 歯科検診（5月下旬）
- 交換留学生（2月派遣）募集（30日〜6月9日）

6月
- 父母懇談会（11日〜7月10日）
  ＊医学部医学科は別日程
- 特待生表彰（11日）
- 第二部夏季球技大会（12日）
- 学術文化祭（27日〜7月3日）
  （「音楽の夕べ」を含む）
- 九州地区大学体育大会夏季大会
  （6月中旬〜7月中旬）

7月
- 前期授業終了（25日）
- 前期定期試験（26日〜8月3日）

二十四節気

4/20頃 穀雨（こくう）	田畑の準備が整い、その穀物を育てるように春の雨が百穀を潤す。この長雨を菜種梅雨とも。
5/6頃 立夏（りっか）	野山の新緑が美しく、夏の訪れを感じる。暦の上ではこの日が夏の始まり。
5/21頃 小満（しょうまん）	爽やかな陽気となり、虫や鳥たちも活発に動き出す。草木が成長して生い茂り、満ちる頃。
6/6頃 芒種（ぼうしゅ）	稲や麦など芒（とげのようなもの）がある穀類の種のこと。昔は種まきに適した時期。
6/22頃 夏至（げし）	太陽の中心が夏至点を通過し、北半球では昼が最も長く、夜が最も短い日。

※二十四節気は、太陰暦を使用していた時代に、季節を表すための工夫として考え出されたもので、1年を24等分にし、その区切りに名前を付けたものです。現在でも季節の節目節目に、これを示す言葉として使われています。（日付は1日程度前後することがあります）。

第17回リサイクルマーケットを開催

毎年、新入生オリエンテーション実行委員会と寮友会および学生課が中心となり、城南区生活環境課・城南区さわやかの会と連携して行われているリサイクルマーケットが、4月1日（金）〜3日（日）に愛好会会館で開催されました。

この取り組みは、在学生・卒業生や周辺地域の家庭から不要になった家具などを提供してもらい、本学の新入生、留学生に無料で提供するものです。今年も、2月から城南区の各地域に提供を呼び掛け、延べ8日間にわたって回収活動を行い、家具や電化製品などたくさんの提供品が集まりました。

学生スタッフの協力で目当ての提供品をアパートに運ぶ親子。

初日は、入学式直後からたくさんの新入生が会場に詰め掛け、地域の方や先輩たちから寄せられた"入学祝い"をうれしそうに持ち帰っていました。

福岡大学筑紫病院の新病院建設に向け地鎮祭が行われる

3月16日（水）、福岡大学筑紫病院の新病院の地鎮祭が行われました。

筑紫野市にある同病院は、昭和60（1985）年の開設以来、地元の医療機関と連携を図りながら地域医療に大きく貢献しましたが、より充実した医療の提供を目指し、新病院を建設することになりました。新病院は地上9階建てで、完成すれば現病院の1.8倍の広さとなります。開院予定は平成25年5月で、それまでは現病院での診療を継続して行っていきます。また、新病院の完成に合わせて、専門的な救急指導医を常勤とする救急部を独立させます。

福岡大学筑紫病院の基本理念である「あたたかい医療」をさらに充実させていきます。

地鎮祭の様子。

福岡大学筑紫病院の新病院完成予定図。

福岡大学公式ウェブサイトがリニューアル

本学の公式ウェブサイト（http://www.fukuoka-u.ac.jp/）が4月1日からリニューアルしました。教育、研究、医療をはじめ9つに分けられたカテゴリーを設け、閲覧者にとって有益な情報を効果的に発信。また、便利帳ナビゲーションという横断的で検索性の高い機能も設け、本学の豊富な知的資源を随時発信していきます。本学の新たな情報発信が、新公式ウェブサイトから始まります。

地域の福大サポーター

Fukuoka University supporters in the region

福岡大学の歴史とともに変貌を遂げてきた街の風景。
今も昔も変わらないのは、学生の皆さんを見守る温かいまなざし。

1 みゆき屋ラーメン

○福岡市城南区七隈5-7-13　○TEL092-871-5340

豚骨とみそラーメンの二本柱が人気 本学学生の多くが常連に

七隈小学校の横で、7年目を迎えるラーメン店。豚骨だけで15時間、さらに鶏ガラを加えて10時間炊き込むスープは、見た目は濃いめでも実にあっさり。このスープに細麺を合わせる「ラーメン」と、柳川産の三種類の味噌をブレンドして加え、中太麺と合わせる「みそラーメン」がメニューの二本柱。セットメニューも豊富で、中でも福岡大学の学生に人気なのが、ラーメン、餃子5個、おかわり自由のご飯が付いたAセット。ご主人の白水裕之さんは「お昼だけで、3升のご飯を2度炊きます」と、旺盛な食欲に驚きの毎日。

学生の多くが常連となるそうで、「軽目のセットを注文して、しっかりおしゃべりして帰る女子学生も多いですよ。卒業した人が『お久しぶりです』とひょっこり食べに来てくれるのが一番うれしいです。4年間通っていたのに、卒業後に初めて会話するというお客さんもいたりします」と白水さん。ちなみに、チャーハンや餃子のテイクアウトも人気です。

白水裕之さんとパートの松村朋益さん。松村さんはこの店のみそラーメンが大好きで、お手伝いすることになったそうです。

店の右側には駐車場も完備。

手前があっさりとしたラーメン450円、奥がマイルドで優しい味のみそラーメン580円

2 リサイクルショップ エコア

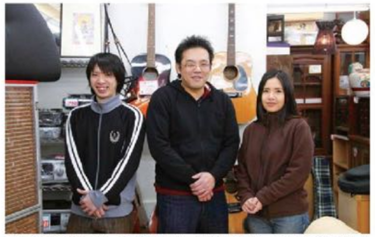
○福岡市城南区松山2-33-13　○TEL092-874-5557

宝探し感覚で楽しめるユニークなリサイクルショップ

店内には、学生の一人暮らしに欠かせない冷蔵庫や電子レンジなどの家電やアンティーク家具、幼児向けのおもちゃまで、とにかくいろいろな商品がぎっしりと並んでいます。「学生さんには、必要な物をできるだけ安く提供できるように、足を使って仕入れています。地域の方々とのお付き合いも大切にしているので、家庭用雑貨や食器類も多いです。自分の趣味も兼ねて、韓国の民芸家具も仕入れています。めずらしい物がありますよ」と店長の永藤貴史さん。

「年中お客さんに来ていただけるように、常におもしろいものを店内に並べられるようにしています。店の中が狭いので、家具の中に商品を入れたりしていますが、それを自分で開けて探すお客さんも多いです」と永藤さん。食器棚の中から、意外なお宝が見つかるかもしれません。そんな宝探し感覚で楽しめるユニークなショップです。

学生生活に必要な家電から家具、おもちゃまで何でもあり。


左から沖田直幸さん、永藤貴史さん、芦谷恵美さん。店長の永藤さんが「自分の趣味で集めた」というギターも販売しています。

店頭にもさまざまな商品が並んでいます。

3 石釜パン工房 タンドルマン

○福岡市城南区茶山4-14-15　○092-873-1745

遠方の方も買いに来るこだわりのパン

金山団地入口から茶山に向かう途中にあるパン屋さん。シックな色合いの店内には、毎日約80種類のパンが並びます。「おいしい、安心・安全を大前提に、気持ちを込めてパンを焼く。当り前のことしかしていません」と謙遜気味に語るのは、シェフの肩書を持つ大石真哉さん。人気は、定番のバケットやドイツ系の麦パン。特にライ麦パンは、レーズン、イチジク、クルミを入れたものやクリームチーズ、ブランベリーを入れたものなど、素朴なパン生地に香りや食感のアクセントを加える素材選びも秀逸。

「週末には遠方の方も買いにいらっしゃいます。常連さんでは、福岡大学の学生さんも多いですよ。ジャージ姿でよく来てくれるので、すぐに分かります。中には、故郷から福岡に来られたお母さまと、一緒に買いに来てくれる学生さんもいます」と大石さん。

パイ生地とフルーツを使った、女子学生に人気のデザート系メニューも充実しています。

パンに対する愛情や情熱が顔に表れているスタッフの皆さん。左から八田雅子さん、内田恭世さん、大石真哉さん、桑原義充さん。

定番のバケット類からライ麦パン、デザート系まで幅広くそろえています。

ガラスに描かれた手書きのイラストが目印。

4 甘（カン）

○福岡市城南区神松寺2-1-1　○092-865-3287

体に優しいオリジナルの麺、甘麺と「いもぱん」が人気

オーナーの村上久美子さんが「おいしく、健康にも美容にも良いものを」と、中国の「医食同源」※に習って、良質の小麦粉と卵を使ってオリジナル「甘麺」を開発。少し太めのモチっとした食感の麺を、豚骨スープ、チキンスープ、トマトソースなど多彩なアレンジで味わえるお店です。サツマイモをプリンで煮込んだものをパンにのせた「いもぱん」も大人気。クリーミーでほんのりとした自然の甘さが魅力で、ほとんどの人が甘麺とのセットを注文するそうです。

「店内が広いので、福岡大学のサークルの食事会によく利用してもらっています。料理を運ぶのを手伝ってくれるので、すごく助かります。それをきっかけにして食事に来てくれる学生さんも多いです」と話すのは、調理担当の中村龍雄さん。学生が満足するようにボリューム満点にしていること、女子学生好みの甘味がそろっていることなどが人気の秘密です。

甘麺に、いもぱん、ミニサイズの甘味が付いたセットが人気。写真は海の幸甘麺セットで1,300円。

左から、木村保弘さん、中村梓さん、中村龍雄さん。木村さんは「いもぱん」の生みの親です。

ほとんどが手作りの店内には小さなギャラリーも併設されています。

※病気を治すのも食事をするのも、生命を養い健康に保つためで、その本質は同じだということ。ー広辞苑よりー

「学宝」探訪　vol.5 水中トレッドミル

福岡大学病院新診療棟の一角に、エアロバイクがずらりと並んだ、まるでスポーツジムのような空間があります。そして、その奥にあるのが水中トレッドミル（流水プール：写真）です。プールの底には個別に速度調整ができる可動ベルトが四つあり、最大4人が水中歩行できるほか、負荷をかける流水の速度も任意に調整できる日本で唯一福岡大学にしか存在しない最新鋭の設備です。この設備を使って「運動と健康の関係」を研究しているのが身体活動研究所です。2年前に第二記念会堂に設置され、今年1月には新診療棟にも研究施設の一部が設置されました。

同研究所の所長を務めるのは、スポーツ科学部の田中宏暁教授。

「生活習慣病の予防や改善に運動が有効であるというのは、今でこそ常識ですが、そのメカニズムの解明や実戦的なプログラム開発はまだまだ不十分。高血圧や糖尿病、肥満などの予防や改善のために、安全で気持ち良く、より効果的な運動とはどのようなものなのか。それを医学部、薬学部、スポーツ科学部、大学病院が一体となり総合的に研究し、情報発信をしていく拠点が身体活動研究所です」。

田中教授は「脳の中に記憶をつかさどる海馬という器官がありますが、その海馬と体力の関係を研究することによって、認知症を予防・改善する運動プログラムが開発できるはず。認知症予備軍の患者さんの発症をゼロに抑えることが最終目標です。これからさらに研究を進めていきます」と語ります。

新診療棟に限らず、本学の体育関連施設がフルに活用され、全国の、そして世界の「健康」に通用する研究成果が生まれてくるのかもしれません。